



取扱説明書

LG CineBeam 4K

DLPプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

HU70LS (HU70LS-JP)
HU70LSB (HU70LSB-JP)



* M F L 7 0 6 4 3 3 7 1 *
(2002-REV01)

Copyright © 2019 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

www.lg.com

目次

ライセンス	3
オープンソースソフトウェア知情報	4
安全上のご注意	5
準備	16
設置	24
マジック・ライティングリモコン	31
機器の接続	37
仕様	42
記号	49
トラブルシューティング	50
メモ	54

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comにアクセスしてください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

Dolby® ラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTSライセンスリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、& DTSおよびシンボル、DTS 2.0 Channel、DTS 2.0+Digital Out、DTS-HD、DTS Virtual:Xは登録商標はDTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。DTS, Inc.は、すべての権利を保有します。

USB Type-C™ and USB-C™ are trademarks of USB Implementers Forum.

POWERED BY



この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B



- ・本書に記載されているイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- ・OSD(オンスクリーンディスプレイ)は、本書に記載されているイラストと多少異なる場合があります。

オープンソースソフトウェア知情報

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPL及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は<http://opensource.lge.com/>のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンスの内容、保証免責の内容および著作権表示をダウンロードすることができます。

また、弊社はお客様のご負担(メディア代、送料や手数料など)にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensource@lge.com。

このお申し込みは、LG Electronicsにて本製品を販売後3年にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。

本サービスは、本情報を受け取られた方どなたでもご利用いただけます。

安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、本製品を誤って使用したりすることがないようにしてください。

以下の簡単な安全上のご注意に従うことでの、お子様の怪我を防ぐことができます。

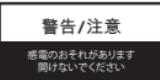
既存のプロジェクターを保管または移動する際と同じ注意を払ってください。

- 下記のとおり、安全に関する注意事項には「警告」と「注意」の2種類があります。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれがある警告事項が記載されています。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、ケガや製品の損傷を招くおそれがある注意事項が記載されています。

- 取扱説明書をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。



正三角形に囲まれた矢印の付いた稲妻の記号は、製品の筐体内に、人体に感電する恐れのある、絶縁されていない危険な電圧が存在することを警告することを目的としています。



正三角形の中の感嘆符は、装置に付属の資料に、操作および保守(サービス)に関する重要な指示があることをユーザーに警告することを目的としています。

警告/注意

- 火災や感電の危険を避けるために、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

本ページ「安全上のご注意」をよくお読みいただき、すべての警告に従ってください。

屋内設置



警告

プロジェクターおよびリモコンを次の場所に設置しないでください：

- 直射日光が当たる場所
- 浴室など、湿度の高い場所
- 可燃物やストーブなど、火気または熱源の近く
- キッチンや加湿器の近くなど、油、油煙、水蒸気などが直接かかる可能性がある場所
- 花瓶や水槽など、液体を含むものの近く
- 埃の多い場所、または、風や雨にさらされる場所
- エアコンの下、または、エアコンからの風が直接あたる場所
- 可燃性スプレーなどの可燃物の近く
- 取付具が設置されていない食器棚、本棚、キャビネット、または、ペットが触れる可能性がある場所
- 感電や火災などの重大な事故、または誤作動、変形、破損、落下など故障につながるおそれがあります。

外部デバイスを接続するときは、プロジェクターが落下しないように注意してください。

- ケガまたはプロジェクターの破損に繋がる可能性があります。

プロジェクター内部の温度上昇を防ぐために、次の注意事項をお守りください。

- 換気口を壁から30cm以上離して設置してください。
- 本棚やクローゼットなど、換気できない場所にプロジェクターを設置しないでください。
- カーペットまたはクッションの上にプロジェクターを設置しないでください。
- テーブルクロス、カーテンなどにより、通気口が塞がれていないことを確認してください。
- 内部温度の上昇によって、火災が発生する可能性があります。

油、油煙にさらされる可能性のある壁または天井に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損またはケガを負う可能性があります。

設置されたプロジェクターにお子様がぶら下がったり、乗ったりしないようにしてください。

- プロジェクターの落下によって、重大なケガや死亡につながるおそれがあります。

製品を天井に設置するときは、次の注意事項をよくお読みになり、十分にご注意の上設置してください。

- 設置については、カスタマーセンターにご相談ください。
- 取付機器と承認されたM4 x 8mm (M6 x 10mm, 1/4-20UNC x 5.5mm) ネジを使って、専門技術者が、製品を設置するようにしてください。
- 取り付けるときは、接着剤、潤滑剤、オイルなどを使用しないでください。
- ネジ留めの際は、過剰な力で締め付けないでください。ネジが破損してプロジェクターが落下するおそれがあります。(推奨トルク:5~8kgf·cm)
- 注意事項を必ずお守りください。製品が落下し、死亡、ケガまたは製品の破損につながるおそれがあります。

 注意

プロジェクターを移動させるとときは、電源スイッチをオフにして、電源コードなど各種接続したケーブル類をすべて取り外してください。

- プロジェクターまたはケーブル類が破損し、火災や感電につながるおそれがあります。

不安定な棚、傾いた場所、振動する場所、プロジェクターの重量を支えられない場所、テーブルクロスなどの布地の上に、プロジェクターを設置しないでください。

- プロジェクターが落下または横転によって、ケガを負ったり、プロジェクターの破損、故障の原因になるおそれがあります。

電源コード、プラグの上を人が通る場所にプロジェクターを設置しないでください。

- 電源コードやプラグの破損は、火災、感電につながるおそれがあります。

プロジェクターは壁から離して設置してください。

- ケーブルの接合部が破損したり、プロジェクター、ケーブルが破損する可能性があります。

キャビネットまたは棚にプロジェクターを設置するときは、プロジェクター下部の前端が外に出ないようにしてください。

- 不安定な場所への設置は、プロジェクターの落下による、ケガやプロジェクターの破損につながるおそれがあります。

使用中

▲ 警告

落雷時は、電源コードを取り外し、アンテナ線に触れないようにしてください。

- ・感電するおそれがあります。

ガス管からガスが漏れている場合は、絶対にコンセントには触れず、窓を開けて換気してください。

- ・火花により、火災または火傷を引き起こす可能性があります。

ゲーム機などの外部デバイスを接続するときは、十分な長さのケーブルで接続してください。

- ・プロジェクターの横転等により、ケガを負ったり、プロジェクターの破損、故障の原因になるおそれがあります。

金属物質または金属が素材の物を、プロジェクターに触れさせないでください。

- ・感電や、プロジェクターの故障の原因になるおそれがあります。

コイン、ヘアピン、鉄の小片を含む金属類、紙、マッチなどの可燃物をプロジェクターに入れないとください。

- ・感電や、火災の原因になるおそれがあります。

リモコン用の電池を交換するときは、お子様が電池を飲み込まないよう注意し、電池をお子様の手の届かない場所に保管してください。

- ・お子様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

製品の梱包に使用されるプラスチックは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

- お子様が誤用すると、窒息する可能性があります。

プロジェクターの起動中、電源をオフに切り換えた直後は、通風口およびその周辺には触れないでください。

- プロジェクターの使用中は高温になるときがあります。排熱によって高温になる通気口付近に触ると火傷する可能性があります。

プロジェクターから照射される光を直接のぞきこまないでください。

- 目を傷めるおそれがあります。

プロジェクターを分解、改造しないでください。

- 分解、改造によるプロジェクターの故障、破損または事故、負傷は保証の対象外となります。検査、調整、修理は弊社カスタマーセンターにご相談ください。

△ 注意

プロジェクターの近くで高電圧の電子機器（電気虫取り器など）を使用しないでください。

- プロジェクターが誤作動する可能性があります。

プロジェクターの上に、花瓶、ポット、カップなどの液体を含む容器、化粧品、医薬品、キャンドルなどの装飾品、重い物を置かないでください。

- 乗せたものが倒れると、感電やケガ、火災の原因になるおそれがあります。

使用中はACアダプタが高温になることがあります。使用中はお子様が触らないよう注意してください。(ACアダプタを使用しないモデルを除く)

電源コード、信号ケーブルを持って、プロジェクターを逆さまに持ち上げたり、動かしたりしないでください。

- プロジェクターの破損や感電、火災につながる可能性があります。

不在になるときは、電源コードを抜いてください。

- プロジェクターの電源をオフにしても、電源コードが接続されている場合は、電気は完全に遮断されません。

ヘッドホンやイヤホンを使用する場合は、大音量または長時間使用しないでください。

- 聴力に影響をおよぼすおそれがあります。

起動時は音量に注意してください。

- 大音量に設定されている場合、聴力に影響をおよぼすおそれがあります。

プロジェクターを長時間屋外で使用しないでください。屋外には保管しないでください。

プロジェクターのレンズに触れたり、衝撃を与えないでください。

- 製品が破損するおそれがあります。

プロジェクターと投影面の間にものを置かないでください。

- プロジェクターの光線が長時間物に当たると、光線の熱によって、火災につながるおそれがあります。また、反射光がレンズを加熱し、プロジェクターの破損につながる可能性があります。

古い電池と新しい電池を混在させないでください。

- 電池の破裂、液漏れにより、火災や感電、ケガのおそれがあります。

電池を交換するときは、+極、-極を間違えないようにしてください。

- 極性を間違えて使用すると、電池の破裂、液漏れが発生し、電池の爆発、火災、感電、ケガにつながるおそれがあります。

電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

- 電池の爆発、破裂、液漏れにより、火災や感電、ケガのおそれがあります。

電池を投げたり、分解しないでください。

- 電池の損傷により、火災または爆発を引き起こす可能性があります。

使用済の電池は正しく廃棄してください。

- お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。

電源

▲ 警告

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。

- ・差し込みはが不十分な場合、火災につながるおそれがあります。

電源タップを使用する際は、差し込みが多くなりすぎないようにしてください。

- ・電源タップの過熱により、火災につながるおそれがあります。

コンセントに接続された状態で、電源プラグのもう一方の端に金属製の突起物(クリップや箸など)を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に触れないでください。

- ・感電するおそれがあります。

アース線のついた電源ケーブルの製品は、必ずアースつきのコンセントまたは電源タップを使用してください。(アース接続のないデバイスを除きます)

- ・誤作動やショートにより感電や火災につながるおそれがあります。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- ・感電につながるおそれがあります。

プロジェクターを長時間使用しないときは、プロジェクターから離れるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・ホコリなどの異物の付着による、劣化、過熱によるショートにより、感電、火災などにつながるおそれがあります。

電源プラグは断路装置です。電源プラグはすぐ手の届く状態にする必要があります。

以下の事故が発生した場合は、すみやかにプロジェクターの電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜いて、カスタマーセンターにご相談ください。

- プロジェクターが破損したとき
- プロジェクターが落下したとき
- プロジェクター内に異物が混入したとき
- プロジェクターから煙または異臭が発生したとき
- ・そのまま使用すると、感電や火災につながるおそれがあります。

 注意

電源スイッチがオンの間は、電源プラグをコンセントに差し込んだり、コンセントから抜いたりしないでください。（電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください）。

- 火災または誤動作を引き起こす可能性があります。

ACアダプタまたは電源コードを取り外すときは、必ず、プラグ部分を持ってください。

- ケーブルの断線によって、火災やプロジェクターが破損するおそれがあります。

ACアダプタ、電源コード、電源プラグの上に物を置いたり、衝撃を与えないでください。

- 破損によって火災、感電、製品の故障につながるおそれがあります。

電源コードおよびACアダプタの接続は、しっかりと差し込んでください。

- 接続が不十分だと、プロジェクターが正常に動作しなかったり、火災につながるおそれがあります。

電源プラグまたはコンセントのブレードに汚れやホコリが付着している場合は、完全に取り除いてください。

- 火災につながるおそれがあります。

電源コードを熱源から離してください。

- 電源コードのカバーの溶解により、感電や火災につながるおそれがあります。

ACアダプタは付属品またはLG Electronicsが認定している製品のみ使用してください。

- プロジェクターが正常に動作しなかったり、感電や火災につながるおそれがあります。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は、プロジェクターに直接水を吹きかけないでください。

- ・プロジェクターの故障、感電、火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

プロジェクターのお手入れについて

- お手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 電源をオフに切り替えた直後は、レンズ等の光学部品を拭かないでください。
- 直接水をかけたり、製品を湿った布で拭いたりしないでください。
- プロジェクターは乾いた布でやさしく拭いてください。
- 洗剤、自動車または工業用の光沢剤や研磨剤、ワックス、揮発性溶剤(ベンジン、アルコール、シンナーなど)は使用しないでください。
- ・火災、感電またはプロジェクターの損傷(変形、腐食、破損)が発生する可能性があります。

レンズのお手入れ

- レンズの表面に埃または汚れが付着した場合、レンズをやさしくお手入れしてください。
- レンズについたほこりや汚れを除去するには、エアダスターを使用するか、綿棒、または柔らかい布でレンズをやさしく拭き取ってください。
- プロジェクターの起動中、電源をオフにした直後は、レンズに触れないでください。
- 洗剤、自動車または工業用の光沢剤や研磨剤、ワックス、揮発性溶剤(ベンジン、アルコール、シンナーなど)は使用しないでください。レンズに傷がついたり、変形して正常に表示できなくなることがあります。

製品内部のメンテナンスのため、年に一度弊社カスタマーセンターにご相談ください。

- ・プロジェクターの内部に埃や異物が堆積すると、誤作動や故障、火災につながるおそれがあります。

準備

本書に書かれているイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

付属品

箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

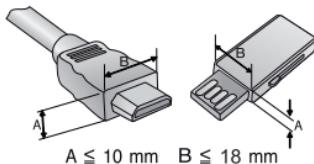
付属品は事前の予告なく変更されることがあります。



△ 注意

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。(アースのない製品を除く)

- HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅18mm以下、高さ10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルやUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に合わない場合は、USB 2.0対応の延長ケーブル等を使用してください。
- 同時に2つのUSBデバイスを接続する場合、ベゼルの厚さが8.5mm以下のデバイスを使用してください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかつたり、接続エラーが起きることがあります。
(推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - ウルトラハイスピードHDMI®/™ケーブル(3m以下)



付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサリ一部品が必要になることがあります。アクセサリ一部品の購入は、製品をお求めいただいた販売店または、電気店、オンラインショッピングサイト等にお問い合わせください。



プロジェクター用の
スクリーン



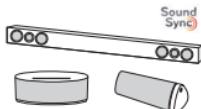
HDMIケーブル



USB Type-Cケーブル

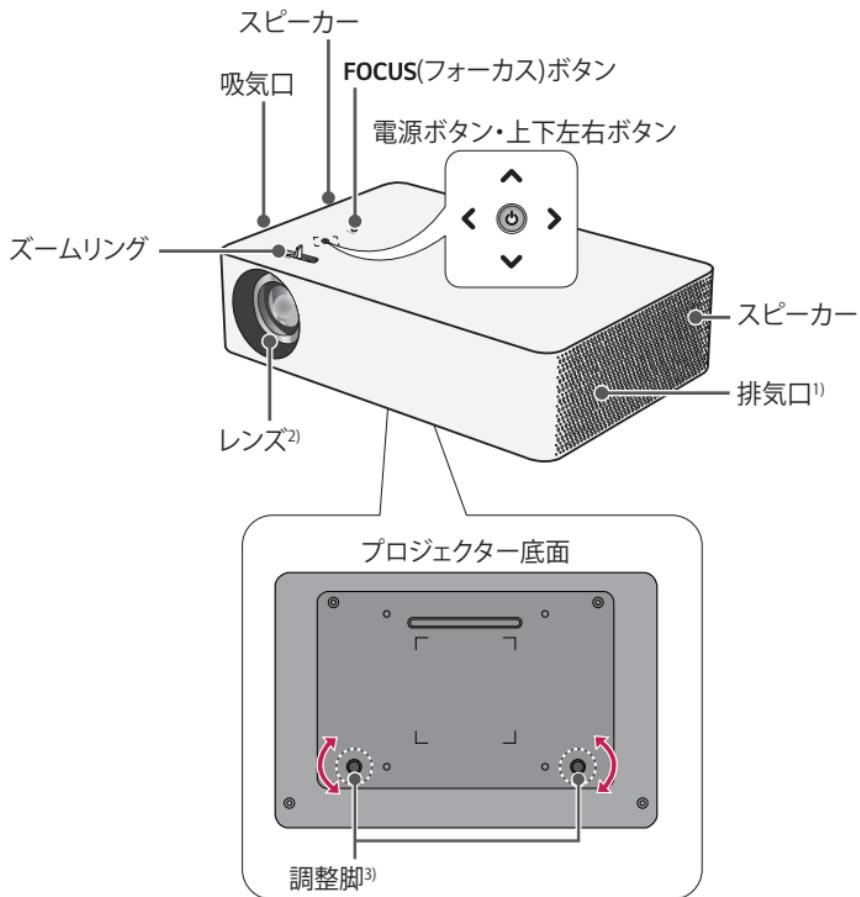


光ケーブル

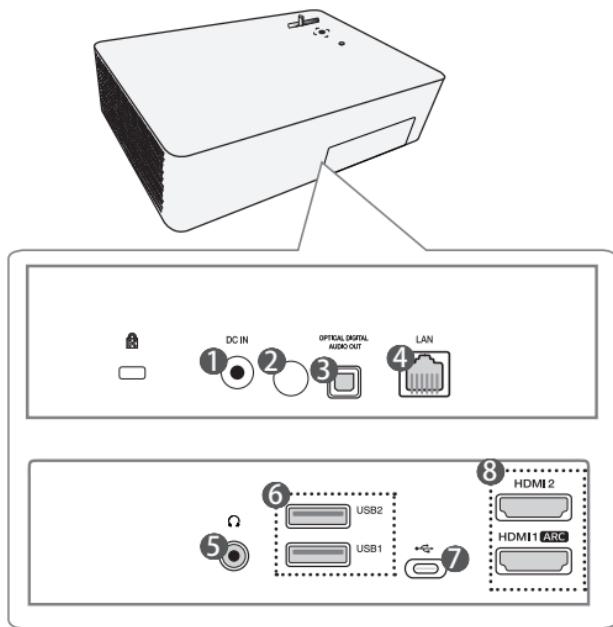


LGオーディオ
デバイス

各部の名称と位置



- 1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口から出る風を浴びないようにしてください。
- 2) レンズには触れないでください。レンズが損傷する可能性があります。
(先のとがったものをレンズに近づけないでください)
- 3) 調節脚を左右に回して、角度を調整します。



番号	説明
①	DC IN (電源コネクタ)
②	IRレシーバー
③	OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT (光デジタル音声出力端子)
④	LAN 端子
⑤	Ω (ヘッドホン端子)
⑥	USB2.0端子
⑦	↔ (USB Type-C端子)
⑧	HDMI (HDMI入力端子)

タクトボタン

電源ボタン、上下左右ボタンでプロジェクターを操作できます。

基本機能

	電源オン	プロジェクターの電源がオフのとき、電源ボタンを1回押します。
	電源オフ (長押し)	プロジェクターの電源がオンのとき、電源ボタンを3秒以上長押しします。
<,>	音量コントロール	左・右ボタンを押すと音量を調整できます。
^, v, <, >	上/下/左/右	機能を設定したり、カーソルを移動させます。

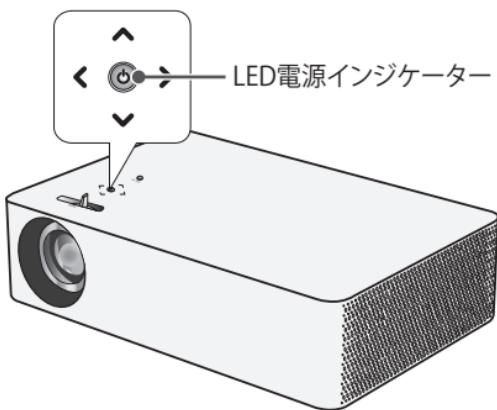
OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの調整

プロジェクターがオンになっているときに、電源ボタンを1回押します。

上下左右ボタンを押して、メニュー項目(↓、↶、×、⚙)を調整します。目的のメニュー項目に移動し、電源ボタンを1回押して選択します。

	電源をオフにします。
	入力元を変更します。
	OSDメニューを終了します。
	メインメニューを表示します。

LED電源インジケーター



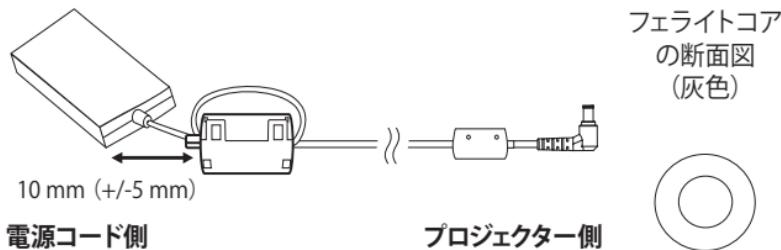
LED電源インジケーター	
赤	電源スタンバイ状態
オフ	電源オンで作動中

設置

フェライトコアの使用方法

- 電磁波ノイズを防ぐために、下記イラストのように、フェライトコアを使用してください。
- イラストはイメージです。実際の製品とは少々異なる場合があります。

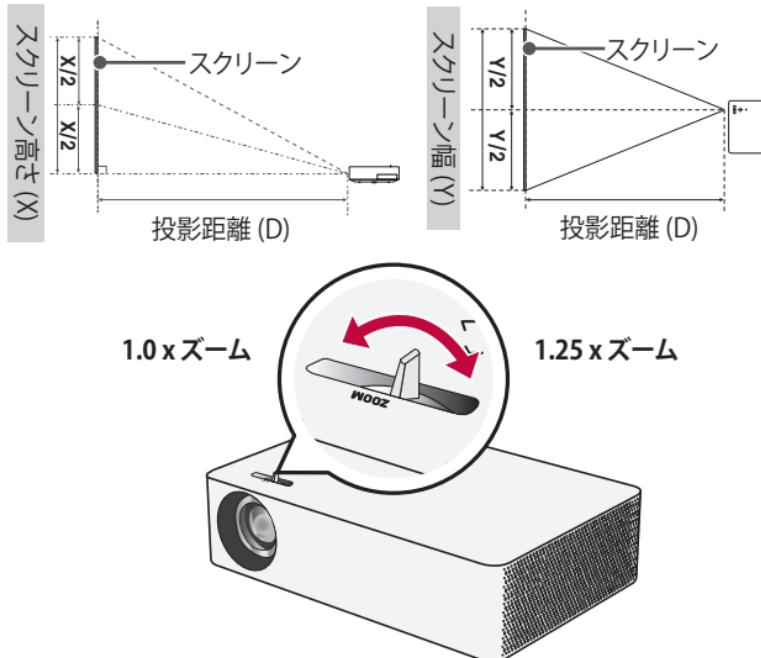
下記のイラストのとおり、AC-DCアダプターのケーブル部にフェライトコアを取り付けます。アダプタ部に近いほど、効果的に電磁波ノイズを防げます。



スクリーンサイズごとの投影距離

- 1 プロジェクターは安定した水平な場所に設置してください。また、接続機器はプロジェクターの近くに配置してください。
- 2 プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3 レンズが投影面に対してなるべく平行になるようにプロジェクターを配置してください。プロジェクターを平行に設置できない場合、映像に歪みが発生します。歪みを修正するには、台形補正機能で調整してください。
- 4 プロジェクターと接続機器の電源コードをコンセントに接続します。

上向き投影の比率:100%



ヒント

- 映像が歪んで投影される場合は、スクリーンが正しく設置されているか確認してください。

16:9アスペクト比 (1.0 xズーム)				
スクリーンサイズ		スクリーン幅 (Y)	スクリーン高さ (X)	投影距離 (D)
インチ	mm	mm	mm	mm
50	1270	1107	623	1660
55	1397	1218	685	1830
60	1524	1328	747	2000
65	1651	1439	809	2170
70	1778	1550	872	2350
75	1905	1660	934	2520
80	2032	1771	996	2681
85	2159	1882	1058	2850
90	2286	1992	1121	3020
95	2413	2103	1183	3190
100	2540	2214	1245	3360
105	2667	2324	1308	3529
110	2794	2435	1370	3700
115	2921	2546	1432	3869
120	3048	2657	1494	4042
125	3175	2767	1557	4210
130	3302	2878	1619	4378
135	3429	2989	1681	4547
140	3556	3099	1743	4718

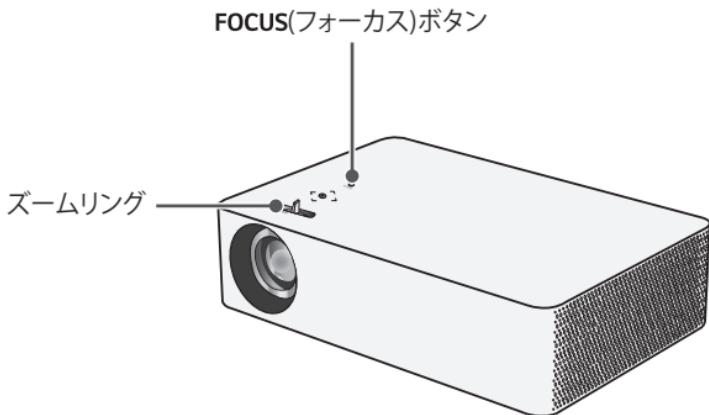
映写距離は設置状況に応じて異なります。

16:9アスペクト比 (1.25 xズーム)				
スクリーンサイズ		スクリーン幅 (Y)	スクリーン高さ (X)	投影距離 (D)
インチ	mm	mm	mm	mm
60	1524	1328	747	1600
65	1651	1439	809	1730
70	1778	1550	872	1867
75	1905	1660	934	2004
80	2032	1771	996	2144
85	2159	1882	1058	2276
90	2286	1992	1121	2410
95	2413	2103	1183	2550
100	2540	2214	1245	2681
105	2667	2324	1308	2820
110	2794	2435	1370	2955
115	2921	2546	1432	3090
120	3048	2657	1494	3230
125	3175	2767	1557	3360
130	3302	2878	1619	3500
135	3429	2989	1681	3630
140	3556	3099	1743	3760

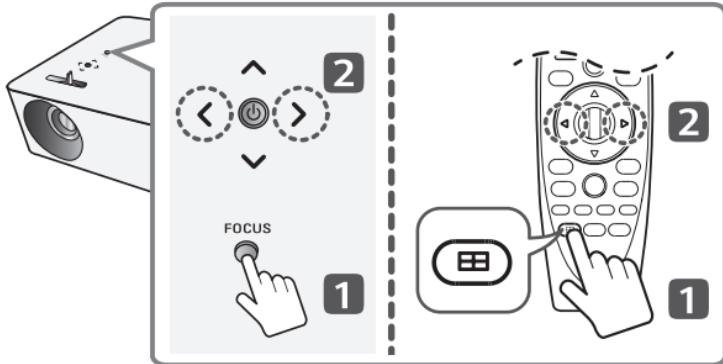
映写距離は設置状況に応じて異なります。

表示された映像のフォーカス

まず、投影面に映像が表示されたら、映像のピントが合っているか確認してください。



- 1 リモコンの田 (フォーカスの調整) ボタンまたはプロジェクターのFOCUSボタンを押して、[フォーカスの調整]を起動してください。
- 2 プロジェクターの左/右ボタンまたはリモコンの左/右ボタンで、ピントを調整することもできます。投影画面の左右のピントが合っている時に、最も正確にピント調整ができます。ピントを調節しているときは、プロジェクターを動かさないでください。



- 3 投影面に対してプロジェクターを直角に設置できない場合は、[台形補正]機能で調整してください。

ケンジントンセキュリティシステム

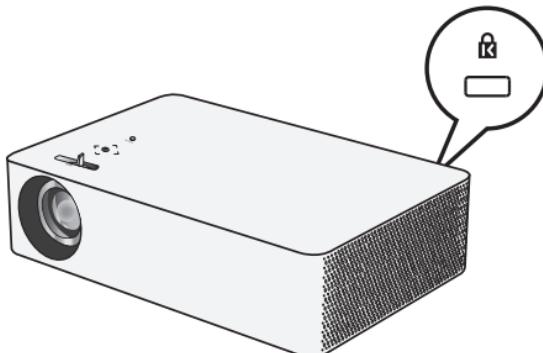
- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムセットに付属の取扱説明書を参照してください。

・ケンジントンセキュリティシステムは、別売です。

・ケンジントンとは

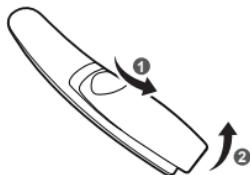
ケンジントンは、ノートPC、その他の電子機器の盗難防止用のセキュリティ製品を提供する会社です。

Webサイト：<http://www.kensington.com>



マジック・ライティングリモコン

プロジェクターの使用中に電池残量不足のメッセージが表示されたら、電池を交換してください。図のように、バッテリーカバーの上部を押してからカバーを下方にスライドさせます。新品の単三形乾電池(1.5V)2本を、+極と-極を正しい方向に合わせてリモコンに挿入します。



*: ボタンを使用するには、3秒以上長押ししてください。

⚠ 注意

- 新しい電池と古い電池と一緒に使用しないでください。



① (電源)

プロジェクターの電源のオンとオフを切り替えます。

② (セットトップボックス電源)

お使いのプロジェクターのマジック・ライティングリモコンにセットトップボックスを追加すると、セットトップボックスのオン/オフができます。

数字ボタン

数字を入力します。

⑨ *

[9]を長押しすると、クイックヘルプが表示されます。

RATIO

ボタンを押すたびに画面のアスペクト比が変わります。

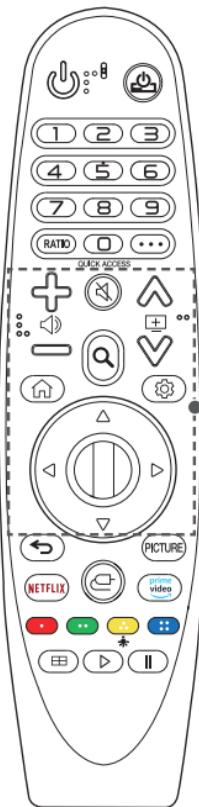
QUICK ACCESS *

[0]を長押しすると、お好みボタンの編集メニューが表示されます。

(クイックアクセスは、数字ボタンを長押しすることで、指定されたアプリに入ることができる機能です。)

… (その他の機能)

リモコンのその他の機能を表示します。



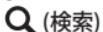
音量を調節します。



音声をミュートします。



[ユーザー補助]メニューが表示されます。



映画、その他の動画などのコンテンツの検索、または検索ボックスに文字列を入力したWeb検索を行います。



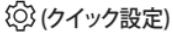
前のページまたは次のページに移動します。



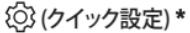
ホームメニューを表示します。



ヒストリーを表示します。



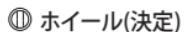
クイック設定を表示します。



[詳細設定]メニューが表示されます。

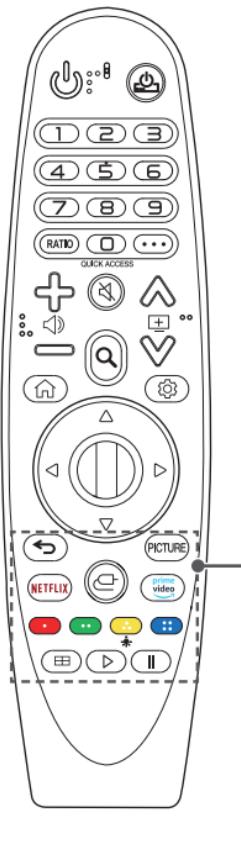


メニュー上のカーソルの移動に使用します。ポインターの使用中に△▽◀▶ボタンを押すと、画面上からポインターが消えて、従来のリモコンと同様の操作ができるようになります。マジック・ライティングリモコンを左右に振ると、再度画面上にポインターが表示され、マジック・ライティングリモコンとして操作ができます。



① ホイール(決定)

ホイールを押すと、メニューの選択、決定します。ホイールを回転させるとページやメニューのスクロールができます。



⬅ (画面)

前の画面に戻ります。

⬅ (画面)*

オンスクリーンディスプレイを全て終了し、映像のみの表示に戻ります。

PICTURE

[映像モード]を変更します。

NETFLIX prime video ボタン

NETFLIX prime video を実行します。

- コンテンツ側の都合、仕様の変更等により、予告なく使用できなくなる場合があります。

➡ (入力)

入力元を変更します。

➡ (入力)*

外部入力のリストが表示されます。

カラー ボタン

一部のメニューの特定の機能を表示します。

●

暗い中でもリモコンを使用できるように、リモコンボタンが点灯します。

5秒以上リモコンを操作しないと、ポインター、リモコンボタンの点灯がオフになります。

照明機能がオンの状態で出荷されます。

●ボタンを5秒以上長押しすると、○(電源)ボタンが2回点滅し、照明機能をオンまたはオフに切り替わります。

■ (フォーカスの調整)

[フォーカスの調整]を実行します。

コントロールボタン(▷、II)

メディアコンテンツをコントロールします。

マジック・ライティングリモコンの登録方法

マジック・ライティングリモコンを使用するには、まずリモコンをプロジェクターに登録する必要があります。

使用する前に、次の手順でマジック・ライティングリモコンをプロジェクターに登録してください。

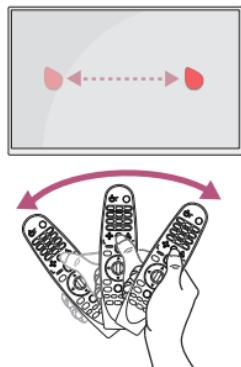
- 1 マジック・ライティングリモコンに電池を入れ、プロジェクターの電源をオンにします。
- 2 マジック・ライティングリモコンをプロジェクターに向け、リモコンの ① ホイール(決定)を押します。
 - マジック・ライティングリモコンが正しく登録できなかった場合は、プロジェクター再起動して、再度お試しください。

マジック・ライティングリモコンを再登録するには

- 1  ボタンと  (画面) ボタンを5秒間同時に押し続けると、プロジェクターとマジック・ライティングリモコンのペアリングが解除されます。
- 2 プロジェクターに向けて ① ホイール(決定)ボタンを押して、マジック・ライティングリモコンを登録します。
 - PICTURE ボタンを長押しすると、マジック・ライティングリモコンの登録解除と再登録とが一度に行えます。

マジック・ライティングリモコンの使用

- マジック・ライティングリモコンを左右に振るまたはホイールを回すと、プロジェクター画面上にポインターが表示されます。リモコンを振ると、その動きに合わせてポインターが動きます。ポインターを移動して① ホイール(決定)ボタンを押すと、目的の機能を実行することができます。



マジック・ライティングリモコンのポインターを設定する

- マジック・ライティングリモコンのポインターの速度、サイズをお好みに合わせて変更できます。
 - [ポインター表示速度]: ポインターの移動速度を変更できます。
 - [ポインタサイズ]: ポインターのサイズを変更できます。
- ポインターは、マジック・ライティングリモコンの無操作状態が数秒間続くと、画面から消えます。ポインターが消えたときは、マジック・ライティングリモコンを左右に振ると、ふたたび画面上にポインターが表示されます。ポインターの表示中に上／下／左／右ボタンを押すと、ポインターの表示が消え、一般的なリモコンと同じように操作することができます。
- ポインターが思うように操作できない場合は、一度ポインターを画面の端に移して、再度操作してください。
- マジック・ライティングリモコンで操作できる範囲は10mです。10m以上離れた場所から操作したり、障害物が間にある場合は、正常に動作しないことがあります。
- マジック・ライティングリモコンは2.4GHz帯を使用しています。同周波数帯域の機器(電子レンジやワイヤレスLAN機器など)の近くでは、通信障害によって正常に動作しないことがあります。
- マジック・ライティングリモコンをぶつけたり、投げる、落下させるといった強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- マジック・ライティングリモコンを操作する時は、周囲のものにぶつからない場所でお使いください。また、周囲に人がいないかご注意ください。

機器の接続

さまざまな外部デバイスをプロジェクターに接続できます。

HDMI機器に接続する

HDMIケーブルで、DVD/ブルーレイプレイヤーやパソコン、ノートパソコンなどを接続して、表示させることができます。

HDMIケーブルでデジタル接続して、高品質な映像とサウンドをお楽しみいただけます。

プロジェクターのHDMI(HDMI入力端子)と、接続機器のHDMI出力端子をHDMIケーブルで接続します。

本製品はHDMI入力端子を2ポート備えています。ともに映像、音声データの入力に対応しています。

- (入力) → [ホームダッシュボード] → [入力] → [HDMI 1]/[HDMI 2]



ヒント

ARC(オーディオリターンチャンネル)

- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオ機器を接続する際は、HDMI1 ARC ポートに接続する必要があります。(+)
- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオ機器とプロジェクターを高速HDMI®ケーブルで接続する場合は、光ケーブルやオーディオケーブルの接続は必要ありません。

PC/ノートパソコンの接続

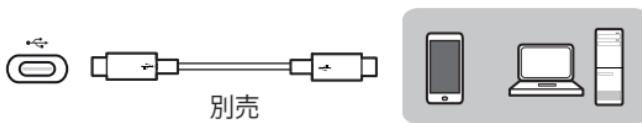
- プロジェクターはプラグアンドプレイに対応しています。PCは自動的にプロジェクターを認識するので、デバイスドライバーをインストールする必要はありません。

USB Type-Cケーブルでの接続

プロジェクターのUSB Type-C端子は、パソコン、ノートパソコン、モバイルデバイスと接続できます。

USB Type-C接続は、接続機器側の対応が必要です。お使いのパソコンまたはモバイルデバイスがUSB Type-Cに対応しているかは、デバイスの取扱説明書をご確認いただくか、製造元にお問い合わせください。

- (入力) → [ホームダッシュボード] → [入力] → [USB-C]

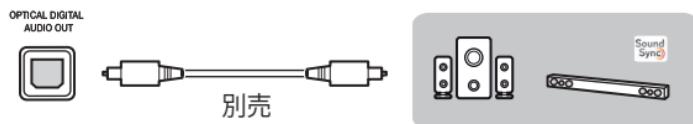


ヒント

- USB PD (Power Delivery=接続機器の充電) およびDP Alt(DisplayPort Alternate=映像信号入力)モードに対応しています。
 - USB PDは接続機器側の対応が必要です。また、ケーブルの種類によっては変換コネクタ(別売)が必要になります。
- 接続したデバイスの仕様、USB Type-Cケーブルの状態、または周辺環境によっては、機能が正常に動作しない場合があります。
- 接続したデバイスの仕様によっては、USB PD機能でプロジェクターが動作しないことがあります。
- 接続デバイスの解像度を確認してから、DP Altモード機能を使用してください。

デジタルアンプに接続する

光デジタルケーブルで、デジタルアンプの光デジタル音声入力端子とプロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**を接続します。デジタルコンバーター付きのアンプの出力は、オーディオフォーマットの設定が必要です。ホームシアターへの接続にHDMIケーブルを使用する際や、光出力を外部オーディオデバイスに接続する場合は、[スピーカー設定]を[光デジタル音声]に設定します。プロジェクター、ホームシアター、外部オーディオデバイスのスピーカーが同時に作動しているときは、エコーが発生します。



ヒント

- 接続するオーディオデバイスの設定は、オーディオデバイスの取扱説明書を参照してください。
- 本機を別のデバイスに接続する際は、すべてのデバイスの電源をオフにしてください。
- 本製品のオーディオ出力は広帯域のオーディオ帯域幅を持つため、レシーバーの音量を予め適切に調整する必要があります。予期しない高い周波数でスピーカーが損傷することがあります。
- プロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**端子をデジタルアンプの光デジタル音声入力端子に接続し、同時にプロジェクターのAV IN 端子をデジタルアンプのアナログオーディオ出力端子に接続してある場合、閉回路により音の搖れが生じることがあります。これを避けるには、2つのうちのいずれかの接続を取り外してください。
(これはホームシアターのデバイスも該当します)

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子にヘッドホン、イヤホン、外部スピーカー等の音声出力機器を接続して音声を出力することができます。



モバイル機器に接続する

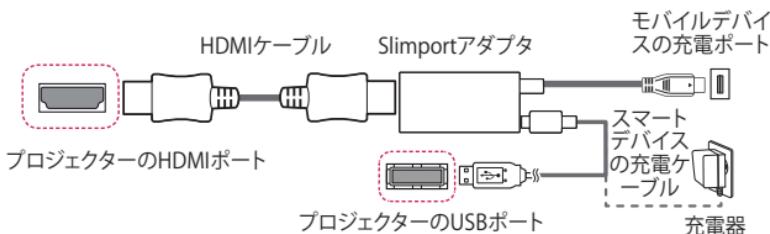
- ・□(入力) → [ホームダッシュボード] → [入力] → [HDMI 1]/[HDMI 2]
モバイル機器とプロジェクターのHDMI入力端子を各種ケーブルやアダプターで接続して、接続した入力モードを選択します。2つのHDMI入力端子共に接続できます。

ケーブル接続する条件や指示事項は接続デバイスの取扱説明書を参照するか、製造メーカーにお問い合わせください。

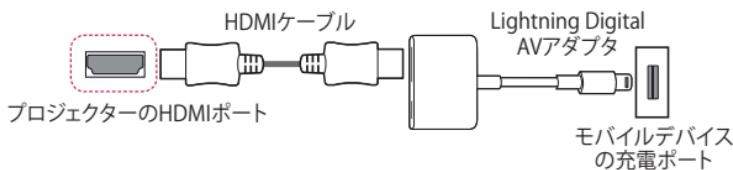
サポートされモバイルデバイスは各製造元の事情により変更される場合があります。

モバイル機器の接続例

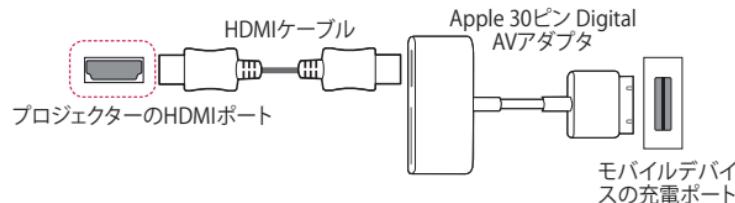
Simport対応デバイス



Apple Lightning Digital AVアダプタ対応デバイス



Apple 30ピン Digital AVアダプタ対応デバイス



- ・イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・ケーブル、アダプターは別売です。

仕様

モデル	HU70LS (HU70LS-JP) HU70LSB (HU70LSB-JP)	
解像度(ピクセル)	3840 (横) x 2160 (縦) ¹⁾	
画面サイズ	16:9 (横:縦)	
投影距離 － スクリーンサイズ	1600mm～3760mm － 1524mm～3556mm (60インチ～140インチ)	
上向き投影の比率	100%	
消費電力	210W	
AC-DCアダプター	メーカー: Honor モデル: ACC-LATP1	
	19.5V — 10.8A (アダプター入力100-240V @ 50/60 Hz)	
音声出力	3W + 3W	
高さ	95mm (脚なし)、100mm (脚付き)	
幅	314mm	
奥行	210mm	
重量	3.2kg	
USBデバイス	USB 2.0 Standard-A	出力:5V、0.5A (最大)
	USB Type-C	出力:5V、1A (最大)
環境条件	温度	
	動作	0°C～40°C
	保管	-20°C～60°C
	相対湿度	
	動作	0%～80%
	保管	0%～85%

- 取扱説明書に記載された電源のみを使用してください。
 - 本書の内容は、品質向上のため予告なく変更することがあります。
- 1) XPR (拡張ピクセル解像度) 映像処理によって投影された830万画素の4K UHD解像度。

HDMI(DTV)/USB Type-C(DTV)サポートされるモード

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640 x 480	31.46	59.94
640 x 480	31.5	60.00
720 x 480	31.47	59.94
720 x 480	31.5	60.00
720 x 576	31.25	50.00
1280 x 720	44.96	59.94
1280 x 720	45	60.00
1280 x 720	37.5	50.00
1920 x 1080i	28.12	50.00
1920 x 1080i	33.72	59.94
1920 x 1080i	33.75	60.00
1920 x 1080p	26.97	23.97
1920 x 1080p	27.00	24.00
1920 x 1080p	33.71	29.97
1920 x 1080p	33.75	30.00
1920 x 1080p	56.25	50.00
1920 x 1080p	67.43	59.94
1920 x 1080p	67.5	60.00
1920 x 1080p	112.5	100
1920 x 1080p	134.86	119.88
1920 x 1080p	135.00	120

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
3840 x 2160p	53.95	23.98
3840 x 2160p	54	24.00
3840 x 2160p	56.25	25.00
3840 x 2160p	61.43	29.97
3840 x 2160p	67.5	30.00
3840 x 2160p	112.5	50.00
3840 x 2160p	134.86	59.94
3840 x 2160p	135	60.00
4096 x 2160p	53.95	23.98
4096 x 2160p	54	24.00
4096 x 2160	56.25	25.00
4096 x 2160	61.43	29.97
4096 x 2160	67.5	30.00
4096 x 2160	112.5	50.00
4096 x 2160	134.86	59.94
4096 x 2160	135	60.00

HDMI(PC)/USB Type-C(PC)サポートされるモード

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640 x 350	31.46	70.09
720 x 400	31.46	70.08
640 x 480	31.46	59.94
800 x 600	37.87	60.31
1024 x 768	48.36	60.00
1360 x 768	47.71	60.01
1152 x 864	54.34	60.05
1280 x 1024	63.98	60.02
1920 x 1080	67.5	60
1920 x 1080	135	120
3840 x 2160	54	24.00
3840 x 2160	56.25	25.00
3840 x 2160	67.5	30.00
4096 x 2160	53.95	23.97
4096 x 2160	54	24

- プロジェクターに無効な信号が入力されると、画面に正しく表示されないか、[信号なし]や[無効なフォーマット]などのメッセージが表示されます。
- プロジェクターはプラグアンドプレイ機能(PCモニターの自動認識)として、DDC1/2Bタイプをサポートしています。
- 3840 x 2160が、PCモードでは最高の画質として推奨されます。

その他の仕様

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意：本製品から危険な光学的放射線が放出される可能性があります。動作中のランプを見つめないでください。目を傷めるおそれがあります。

このラベルは製品の下部に貼付されています。また、上記とは異なる言語の場合があります。

Wireless モジュール (LGSBWAC92)仕様

Wireless LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac)	
使用周波数	無線出力
2400-2483.5MHz 5180MHz, 5190MHz, 5200MHz, 5210MHz, 5220MHz, 5230MHz, 5240MHz, 5260MHz, 5270MHz, 5280MHz, 5290MHz, 5300MHz, 5310MHz, 5320MHz, 5500MHz, 5510MHz, 5520MHz, 5530MHz, 5540MHz, 5550MHz, 5560MHz, 5580MHz, 5590MHz, 5600MHz, 5610MHz, 5620MHz, 5630MHz, 5640MHz, 5660MHz, 5670MHz, 5680MHz, 5700MHz	802.11a: 16dBm 以下 802.11b: 18dBm 以下 802.11g: 17dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 18dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16dBm 以下 802.11ac - 5GHz: 16dBm 以下
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400-2483.5MHz	8dBm

- 電波法により5.2GHz帯(W52)高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動局と通信する場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。



1 Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

2 Bluetooth

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

<本製品の使用上の注意事項>

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、別紙「プロジェクト 対応窓口のご案内」記載のカスタマーセンターまでご相談ください。

記号

～	交流(AC)を表します。
---	直流(DC)を表します。
□	クラスIIの装置を表します。
○	スタンバイを表します。
	「オン」(電源)を表します。
⚡	危険な電圧を表します。

トラブルシューティング

製品の使用中に次の症状が発生した場合は、以下のリストを確認してください。故障ではない可能性があります。

♡ 安全チェックリスト（製品を長く安全にお使いいただくため、以下をご確認ください。）

プロジェクターが動かない（以下の症状に該当する）

- ・プロジェクターをオンにしたとき、スクリーンに何も表示されない、または、音声が出力されない。
- ・プロジェクターから煙が出た、または焦げた臭いがする。
- ・プロジェクターに水がかかってしまった。異物が入り込んでしまった。
- ・映像が途切れる。
- ・プロジェクターから異音（パチパチやバチバチといった音）が常に聞こえる。
- ・プロジェクターをオフにしても、スクリーンになにか表示されている、音声が出ている。
- ・上記以外にも今まで発生していなかった問題が確認される。

すみやかに使用を中止して、以下の対処をしてください。

- ・電源スイッチをオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・症状を確認の上、カスタマーセンターにご連絡ください。
- ・感電やケガを負うおそれがありますので、分解しないでください。

異常な動作

- ・スクリーン上に小さな点（白や黒の点）が表示される。
 - プロジェクターは高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や白い点などが点が見えることがあります。これは製造プロセスで生じる特性のものであり、製品不良、故障ではありません。
- ・電子安定器を備えたランプ、または、3波長型蛍光ランプが設置されている場所では、リモコンが機能しないことがあります。
 - この場合は、リモコンの正常な動作を保証するために、電子安定器を備えたランプ、または、3波長型蛍光ランプを国際標準製品に交換してください。

以下の内容を確認してください。以下の内容にしたがって操作しても症状が改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談ください。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源をオンにしてから映像が完全に表示されるまで時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター起動直後にノイズが発生することがあります。起動後しばらくするとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる線、および網目模様が瞬間に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 強い電気的な干渉によって、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、表示されない、または映像が不鮮明。	<ul style="list-style-type: none"> HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。

サウンド

問題	解決法
映像が表示されているのに、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 PCとアナログ接続をしている場合、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続しているとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 通常の音楽(*mp3)ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
PC接続時に映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> PCとプロジェクターがしっかりと接続されていることを確認してください。 リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。 プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。 解像度がPC入力用に正しく設定されているか確認してください。 HDMIケーブルを再度接続してください。
PCとHDMI接続したとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックカードがHDMI音声出力に対応しているか確認してください(DVI変換で接続している際は、別の音声ケーブルを接続する必要があります)。 PCの音量が適切か確認してください。
PCに接続すると、表示が部分的に欠損したり、偏ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> PC入力をサポートするように解像度を設定してください(それでも解決しない場合は、PCを再起動してください)。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイルを視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> USBストレージデバイスのファイルがPCで読み取れるか確認してください。 ファイル拡張子がサポートされているか確認してください。
「このファイルは無効です」というメッセージが表示されるか、音声が聞こえるのに映像表示が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください(ファイルが破損していないか確認します)。 解像度がサポートされているか確認してください。 ビデオと音声のコーデックがサポートされていることを確認してください。 フレームレートがサポートされていることを確認してください。
「音声がサポートされていません」というメッセージが表示されるか、映像表示が正常なのに音声が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> PCの再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください(ファイルが破損していないか確認してください)。 音声コーデックがPCでサポートされているかを確認してください。 ビットレートまたはサンプリングレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> PCの再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください(ファイルが破損していないか確認してください)。 ビデオファイルと字幕ファイルのファイル名が一致しているか確認してください。 ビデオファイルと字幕ファイルが同一のフォルダーにあることを確認してください。 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 字幕の言語がサポートされていることを確認してください(字幕ファイルを「メモ帳」で開いて言語を確認できます)。

- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- サポートに関する情報は、別紙の「プロジェクター 対応窓口のご案内」または、以下の方法でご参照ください。
 - ⑧(クリック設定)ボタンを押してメインメニューを開き、[機器設定] → [このプロジェクターについて]

メモ



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号



LG プロジェクターについて

本書のイラストは、実際のプロジェクターと異なる場合があります。

実際のプロジェクターのOSD(オンスクリーンディスプレイ)は本書の内容と多少異なる場合があります。

[]: プロジェクターのメニュー名やボタン名を表します。

HU85LS (HU85LS-JP)

HU70LS (HU70LS-JP)

HU70LSB (HU70LSB-JP)

目次

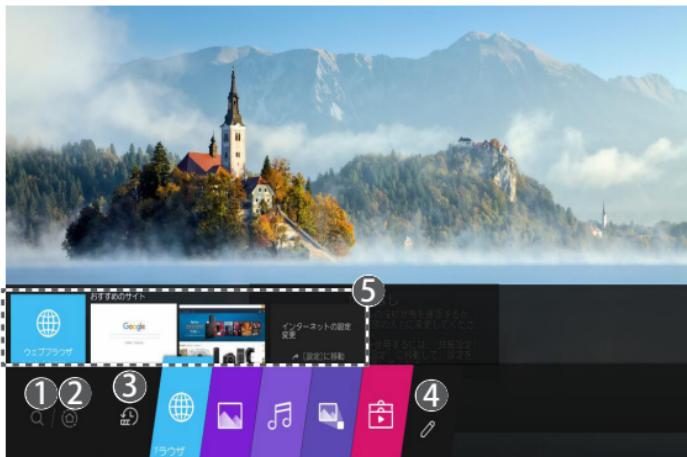
LG プロジェクターについて	3
プロジェクターの操作方法	9
各種コンテンツの使用方法	16
他のデバイスとの接続	22
スマートプロジェクターの利点	50
設定一覧のツアー	54
ソフトウェアの更新	84
トラブルシューティング	85
メモ	98

LG プロジェクターについて

ホームのチュートリアル

LG プロジェクターのホーム機能の使い方

リモコンの H ボタンを押すと、ホーム画面が開きます。よく使用するアプリを1つの画面にまとめて、いつでも必要なアプリが使用できます。



番号	説明
①	[検索]を起動します。
②	[ホームダッシュボード]に移動します。 プロジェクターに接続されたデバイス(モバイルデバイス、外部デバイスなど)を選択または操作できます。

4 LG プロジェクターについて

番号	説明
③	直近に使用したアプリが表示されます。 リモコンの △ ボタンを長押しするか、[ヒストリー]にポインターを合わせます。 上部のプレビュー領域に表示された最近使用したアプリのリストから実行または閉じることができます。
④	プロジェクトにインストールしたすべてのアプリを実行、移動、削除できます。
⑤	各アプリ領域にポインターを当てます。これにより、上部にプレビューが表示されます。 アプリを起動せずに、各アプリの機能やプレビュー上の推奨コンテンツを確認または実行できます。 • 一部のアプリは、プレビューが表示できないことがあります。

- 本製品の仕様ならびにサービスは品質向上または仕様の変更等により予告なく変更される場合があります。

LG プロジェクターのホームを管理する

プロジェクターにインストールされているすべてのアプリの一覧の表示、配置の変更、削除ができます。

- 1 編集するアプリを選択して、リモコンの①ホイール(決定)ボタンを長押しするか、ホームリストの右隅にある編集モードボタンを選択するとアプリ編集モードが開きます。
- 2 アプリを目的の位置に移動するには、その位置に移動させて、①ホイール(決定)ボタンを押します。アプリを削除するには、アプリの上にあるXを選択します。
 - 必要に応じてアプリを移動、削除したら、編集モードを終了します。
 - リモコンの</>ボタンでもアプリを移動できます。
- 3 編集完了後、右上のXを押して、アプリ編集モードを終了します。
 - プロジェクターのデフォルトアプリは編集できません。

6 LG プロジェクターについて



番号	説明
①	アプリの使用頻度に応じて、アプリの使用順に自動的に整列表示します。
②	リストにお気に入りのビデオサービスチャンネルを追加できます。 <ul style="list-style-type: none">この機能は、ネットワークに接続されているときのみ利用可能です。

ネットワークを設定する

ネットワーク設定

ネットワークの設定を行う場合、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。

有線ネットワークの設定

- 1 プロジェクターのLANポートとルーターをLANケーブルで接続します。
ルーターを前もってインターネットに接続しておく必要があります。
- 2 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [接続] → [有線ネットワーク接続]を選択します。
 - ルーターがDHCPに対応している場合、プロジェクターをLANケーブルでネットワークに接続すると、プロジェクターは自動的にネットワークに接続されます。

無線ネットワークの設定

- 1 インターネットに接続されたルーターの電源をオンにします。
- 2 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [接続] → [無線ネットワーク接続]を選択します。
- 3 ネットワーク検索が完了すると、接続可能なネットワークの一覧が表示されます。
- 4 接続するネットワークを選択します。無線ルーターがパスワードで保護されている場合は、ルーターのパスワードを入力します。

ネットワークの設定の警告

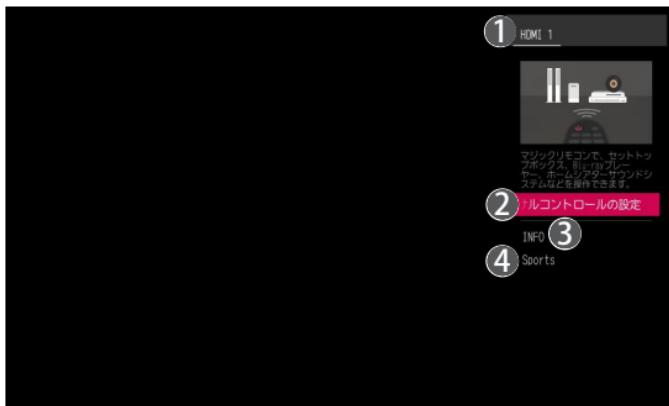
- 標準LANケーブル(RJ45コネクタ、10 Base-Tまたは100 Base TX LANポート付きのカテゴリ7以上に接続)を使用します。
- モデムをリセットすると、一部のネットワーク接続の問題が解消される場合があります。モデムの電源をオフにし、一度コンセントから取り外して接続し直し、再起動すると問題が解決します。
- LG Electronicsは、ネットワーク接続の問題またはネットワーク接続によって生じた不具合、故障、またはエラーについて責任を負いません。
- ネットワーク設定やインターネットサービスプロバイダによっては、ネットワーク接続が正しく機能しない場合があります。
- DSLサービスにはDSLモデムを使用する必要があり、ケーブルサービスには、ケーブルモデムを使用する必要があります。限られた数のネットワーク接続しか利用できない場合があるため、インターネットサービスプロバイダとの契約によっては、プロジェクターのネットワーク設定を使用できないことがあります(契約によって、回線あたり1台の機器しか使用が許可されていない場合、すでに接続されている機器しか使用できません)。
- 無線ネットワークは2.4GHzの周波数を使用している他の機器(コードレスフォン、Bluetoothデバイス、電子レンジ等)と干渉する場合があります。5GHzの周波数を使用しているときにも干渉が起こることはありますが、発生の可能性は低くなります。
- 無線環境によって無線ネットワークサービスの動作が遅くなることがあります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部の機器で過剰なトラフィックが発生することがあります。
- アクセスポイント機器が無線接続をサポートしている必要があり、またAP(アクセスポイント)接続する機器の、無線接続機能が有効になってい必要があります。アクセスポイントで無線接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに問い合わせてください。
- SSIDとAPのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとAPのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワーク機器(有線/無線回線共有、ハブ)の設定によっては、プロジェクターの動作が遅くなる場合や、正しく動作しない場合があります。ネットワーク機器のマニュアルに従って機器に正しく接続、設定してください。
- 接続方法は、APメーカーによって異なります。

プロジェクターの操作方法

リモコンのその他の機能を表示する

プロジェクター画面に表示されているボタンを使用して、その他の機能またはプロジェクターに接続されている外部デバイスを操作できます。

- 1 リモコンの…ボタンを押します。
- 2 リモコンで、画面上の[機能をさらに表示]上の希望するボタンを選択します。



番号	説明
①	<p>デバイスを選択すると、[機能をさらに表示]がそのデバイスのリモコンになります。</p> <p>サウンドバーが接続されている場合、[機能をさらに表示]はサウンドバーのリモコンとして使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルリモコンの機能を使用するには、マジック・ライティングリモコンが必要です。
②	マジック・ライティングリモコンを使用して、セットトップボックス、ブルーレイプレイヤー、ホームシアターシステムを操作できます。
③	画面に視聴している番組、外部入力、写真、音楽、ビデオなどの情報を表示します。
④	スポーツやゲームの視聴環境に合わせて、ビデオ/サウンドモードを設定できます。
<ul style="list-style-type: none"> [機能をさらに表示]に表示されるボタンの種類は、接続されているデバイスの種類によって異なります。 	

ユニバーサルリモコン

マジック・ライティングリモコンで、セットトップボックス、ブルーレイプレイヤー、ホームシアターシステムを操作できます。

ユニバーサルリモコンの自動設定

設定するデバイスをプロジェクターのHDMI入力に接続し、デバイスの電源をオンにします。

プロジェクターが接続されたデバイスを自動的にスキャンし、自動的にユニバーサルリモコンを設定します。

- ユニバーサルリモコン設定後、追加でユーザー設定が必要となる場合があります。
- ユニバーサルリモコンの設定を完了するために、数秒かかることがあります。
- 接続されるデバイスによっては、ユニバーサルリモコンの自動設定機能（自動デバイス接続）に対応しないことがあります。

ユニバーサルリモコンの手動設定

ユニバーサルリモコンが自動で認識されない場合、または、AV入力/コンポーネント入力に接続した場合に手動で設定することができます。

- 1  (クイック設定) →  → [接続] → [デバイスコネクター]を選択します。
- 2 設定するデバイスの種類を選択します。
- 3 画面上のガイダンスに従い、ユニバーサルリモコンを設定します。
ユニバーサルリモコンの設定の変更または取り消しができます。
 - この機能はマジック・ライティングリモコンでのみ使用できます。
 - 設定を変更する際、変更するデバイスの電源がオンになっていることを確認してください。
 - ユニバーサルリモコンを最新の更新情報を元に設定できます。
 - ユニバーサルリモコンの手動設定機能は、ゲーム機(コンソール)には対応していません。
 - 外部デバイスのモデルによって、一部のボタンが正常に機能しない場合があります。
 - スムーズに使用するため、デバイスをプロジェクトの近くに設置してください。
 - デバイスの前に障害物があると、信号を正常に受信できない場合があります。デバイスが引き出しに入っている場合、引き出しを開けてください。

[お好みボタン]を用いたアプリの起動

[お好みボタン]でアプリを快適に操作する

リモコンの数字ボタンを長押しすると、使用頻度の高い機能を登録することができます。登録した機能は、割り当てた数字を長押しするだけで手軽に呼び出せるようになります。

[お好みボタン]の設定

- 1 割り当てるアプリを起動するか、入力を有効にします。
- 2 登録する(1~8)ボタンを長押しします。
9番は[クイックヘルプ]に固定されています。
- 3 登録用のポップアップウィンドウが開いたら、[はい]を選択します。
 - ・既に登録済みの数字ボタンを長押しすると、登録された機能が実行されます。
 - ・登録できるアプリや入力を確認する場合は、ボタンの0(ゼロ)を長押しして[お好みボタン]の編集モードで確認、設定ができます。
 - ・[お好みボタン]が使用できないアプリは登録できません。
 - ・登録済みのアプリを削除すると、[お好みボタン]の登録も解除されます。

[お好みボタン]の確認と編集

リモコンの数字**0**ボタンを長押しします。
[お好みボタン]の編集画面が開きます。



番号	説明
①	既に登録済みの数字を選ぶと登録を解除できます。
②	未登録の数字を選択すると、登録可能な機能が表示されます。
③	既に数字が割り当てられているアプリ、入力にはチェックマークが表示されます。
④	[お好みボタン]機能の簡単な説明、操作方法が表示されます。

SIMPLINKの使い方

HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで操作、使用できるので便利です。

- 1 HDMI®ケーブルを使用して、SIMPLINK HDMI出力ポートをプロジェクターのHDMI INポートに接続します。
- 2 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [接続] → [HDMI機器の設定]を選択します。
- 3 [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。
- 4 [自動電源]設定を[オン]または[オフ]に設定します。([自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKで接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。プロジェクターの電源をオフにすると、機器の電源もオフになります)。
- 5 接続された機器の電源をオンにします。プロジェクターが機器に自動的に接続すると、入力が切り替わります。機器がプロジェクターに自動的に接続されない場合は、 ボタンをクリックします。
 - ・この機能は、ロゴが付いた機器でのみ機能します。外部デバイスにSIMPLINKのロゴがあるかを確認してください。接続機器が要件を満たしていない場合、正常に動作しない場合があります。
 - ・SIMPLINKを使用するには、CEC(Consumer Electronics Control)機能対応高速HDMI®ケーブルが必要です。高速HDMI®ケーブルのピン13が、機器間のデータ転送に使用されます。
 - ・HDMI®ケーブルで接続した外部オーディオ機器に音声を出力する場合は、[SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。

サポートされているSIMPLINK機能

・インスタント再生

マルチメディア機器を起動すると、操作なしで機器のコンテンツをプロジェクターですぐに視聴できます。

・プロジェクターのリモコンで接続機器を操作

プロジェクターのリモコンでマルチメディア機器を操作して、コンテンツを視聴できます。

- マジック・ライティングリモコンのポインタ機能の動作が制限される場合があります。

・主電源オフ

[HDMI機器の設定]で[自動電源]を[オン]に設定した場合、プロジェクターの電源をオフにすると、SIMPLINKでプロジェクターに接続されている機器の電源もオフになります。

- この機能は特定の機器でのみ使用可能です。

・主電源オン

[HDMI機器の設定]で[自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKに接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。

- [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オフ]に設定した場合、[自動電源]を[オン]に設定することはできません。

各種コンテンツの使用方法

LGコンテンツストア

動画コンテンツ、映画などを素早くかつ便利に視聴できます。

また、教育、エンターテインメント、ライフスタイル、ニュース、ゲームなどの様々なカテゴリのアプリをダウンロードし、使用できます。

- 1 リモコンの \square ボタンを押します。
- 2 [LG Content Store]アプリケーションを起動します。
 - お子様が使用する際には十分に注意してください。本製品からお子様がインターネット上の不適切なコンテンツにアクセスする可能性があります。
 - 一部アプリへのアクセスを制限することで、不適切なインターネット上のコンテンツをブロックできます。
 - ☀(クイック設定) → ⚙ → [ロック] → [アプリの使用制限]から、制限する内容を設定できます。

メイン画面のお勧めコンテンツ

[LG Content Store]のメイン画面上で、各カテゴリの最も人気のあるコンテンツやアプリに対するお勧めを閲覧できます。視聴するコンテンツを選択したり、ダウンロードするアプリを選択します。

- この機能は、ネットワークに接続されているときのみ利用可能です。

LGアカウントを登録する

[アカウント管理]で、メールアドレスを使用して新規LGアカウントを作成できます。

- 1 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [機器設定] → [アカウント管理]を選択します。
- 2 [アカウントの作成]を選択します。サービス利用規約をよくお読みいただき、内容に問題がなければ同意します。
- 3 IDとパスワードを入力します。IDはメールアドレスと同一である必要があります。
- 4 生年月日を入力します。
- 5 [決定]を選択します。メールから、メールアドレスを認証します。有効期限が切れる前に、メールアドレスを認証してください。
- 6 作成したアカウントでログインし、サービスの利用を開始します。
 - ・アカウントを作成するには、インターネット接続が必要です。
 - ・年齢の設定によっては、サービスの使用が制限される場合があります。

LGアカウントを管理する

LGアカウントの情報を管理できます。

- 1 リモコンの (クイック設定) ボタンを押します。
- 2  → [機器設定] → [アカウント管理]からログインします。

個人情報

ログイン中のアカウントの情報を閲覧または編集できます。
パスワードを変更するか[編集]を押して個人情報を編集します。

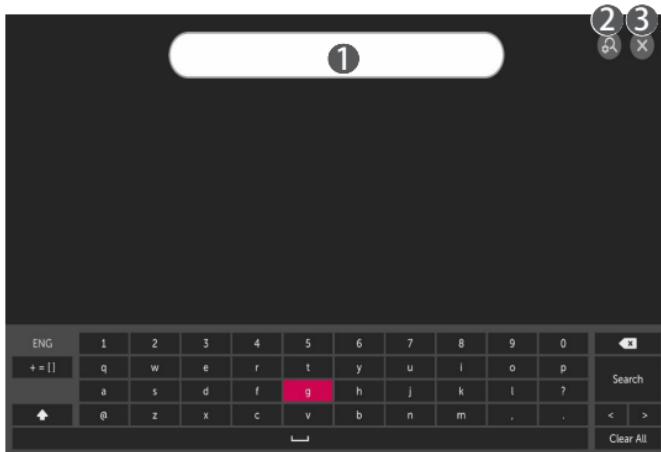
コンテンツの検索

[検索]

[検索]を使用して、さまざまなコンテンツと情報を検索して使用できます。画像、動画、音声ファイルを含むファイルを検索できます。

コンテンツを検索する

- 1 リモコンの□ボタンを押します。
- 2 Qを起動します。
- 3 検索用語を入力して、さまざまなコンテンツと情報を検索します。



番号	説明
①	検索用語を入力します。
②	[検索]で利用できる各種機能の設定を変更します。
③	検索を終了します。

- プロジェクター内の検索機能に対応する一部のアプリはそのアプリの[検索]で検索が実行されます。
- ネットワーク設定、利用規約の同意状況によって、検索結果が異なる場合があります。

アプリやコンテンツの使い方

アプリをインストールする

[LG Content Store]からプロジェクターにさまざまなアプリをインストールできます。

- 1 リモコンの [H] ボタンを押します。
- 2 [LG Content Store]アプリケーションを起動します。
- 3 画面上に表示されているカテゴリから、希望するカテゴリを1つ選択すれば、使用可能なアプリの一覧が表示されます。
- 4 一覧から、インストールするアプリを選択します。
- 5 アプリの詳細をお読みいただき、[インストール]を押します。
- 6 インストール完了後、すぐにアプリを起動できます。
 - 使用可能なカテゴリはご利用のサービス状況によって異なる場合があります。
 - プロジェクターの内部ストレージの容量が不足している場合は、USBストレージデバイスを接続することでアプリがインストールできます。
 - 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
 - 他のLGテレビやLGプロジェクターのアプリを含むUSBドライバーは使用できません。
 - [アプリ]アイテムの[マイアプリ]にダウンロードしたアプリを削除できます。

VODコンテンツを視聴する

その場でドラマや映画などがリアルタイムストリーミングでお楽しみいただけます。

- 1 リモコンの [H] ボタンを押します。
 - 2 [LG Content Store]アプリケーションを起動します。
 - 3 一覧からVODコンテンツを選択します。
 - 4 コンテンツが再生できます。
- コンテンツを再生するには、アプリが必要な場合があります。インストールされていない場合、アプリをインストールしてコンテンツを再生してください。

他のデバイスとの接続

[ホームダッシュボード]の使い方

プロジェクトに接続されたデバイス(モバイルデバイス、外部デバイス、ホームIoT機器など)を選択、操作できます。

- リモコンの \square ボタンを長押します。



番号	説明
①	LG TV Plusで、接続されたモバイルデバイスを確認・選択できます。Bluetooth経由で接続されたモバイルデバイスの音声を再生できます。
②	外部入力ポートまたはネットワークを通して、接続された外部デバイスを確認・選択できます。
③	ホームIoTを経由して接続されたデバイスを確認・操作できます。

番号	説明
④	入力に接続されたデバイス名を編集したり、アイコンを変更できます。 [ホームIoT機器]に接続されたデバイスの名前を編集したり、デバイスを[表示]/[非表示]にできます。 • 一部のデバイスは編集できないものがあります。
⑤	[OCF接続]: [オン]に設定した場合、OCFをサポートするデバイスにリンクされます。 [通知]: [オン]に切り替えると、ホームIoT機器の状態に関する通知が送信されます。 [デバイスコネクター]: [デバイスコネクター]アプリを起動できます。
⑥	デバイスリストを更新します。
⑦	[ホームダッシュボード]を終了します。

モバイルデバイスに接続する

モバイルデバイスとプロジェクターを接続して、さまざまな機能を使用できます。

LG TV Plusアプリをプロジェクターに接続する

- 1** モバイルデバイスのアプリストアからLG TV Plusアプリをダウンロードします。
- 2** プロジェクターとモバイルデバイスを同一のWi-Fiネットワークに接続します。
- 3** モバイルデバイスにインストールしたLG TV Plusアプリを起動します。
- 4** LG TV Plusアプリの手順に従い、モバイルデバイスをプロジェクターに接続します。プロジェクターの[ホームダッシュボード]で、接続されているモバイルデバイスを確認できます。

LG TV Plusアプリでプロジェクターを操作する

モバイルデバイスの画面の各ボタンをタップして、プロジェクターを操作できるようになります。

項目	説明
「コントロール」	マジック・ライティングリモコンのポインタと矢印キーと同じ機能が使用できます。
「ライブテレビ」	音量や他の機能を調整できます。
「テレビメニュー」	プロジェクターにインストールされているアプリを開いたり、入力切替などの機能の設定を行うことができます。

- 外部入力コードで、一部の操作が制限されている場合があります。
- アプリの画面と機能は予告なく変更されることがあります。
- 使用可能な機能は、OSによって異なります。

LG TV Plusアプリでコンテンツを共有する

モバイルデバイスに保存されているコンテンツを共有してプロジェクターで視聴することができます。

- 1 モバイルデバイスにインストールしたLG TV Plusアプリを実行します。
- 2 プロジェクターで再生するコンテンツを設定します。

コンテンツ共有の注意事項

- コンテンツ共有が適切に動作しない場合は、ネットワークが正しく設定されているか確認してください。
- 無線ネットワークでは安定して動作しない場合があるので、有線ネットワーク接続で使用することをお勧めします。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- サポートされる機能は、モバイルデバイスのオペレーティングシステムのバージョンとメーカーによって異なる場合があります。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5GHzの周波数のルーターが必要です。
2.4GHzのルーターでは、動画が正しく再生されないことがあります。
- 接続デバイスによっては、字幕がサポートされない場合があります。
- 字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- 接続されたデバイスのDRMファイルは再生されません。
- プロジェクターでサポートされているファイル形式でも、接続したデバイスによっては再生できない場合があります。
- 1つのフォルダー内のファイル、フォルダの数が多すぎる場合、正常に再生できない場合があります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

スマートフォンの画面を共有する

モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには

- 1** モバイルデバイスの画面共有モードを有効にします。
 - 2** 使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
 - 3** プロジェクターを選択し、接続要求を実行します。
 - 4** 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
- 信頼できる接続の場合は、プロジェクターに接続するモバイルデバイスのOSは常に最新版に更新されるよう設定してください。
 - LGエレクトロニクス製以外のデバイスは、検出された場合でも接続できないことがあります。
 - 無線環境によってパフォーマンスが影響を受ける可能性があるため、デバイスは5GHz対応ルーターに接続してください。
 - データの転送速度は使用環境によって異なります。
 - 操作、設定方法はデバイスによって異なります。接続デバイスの詳細については、デバイスの取扱説明書を参照してください。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

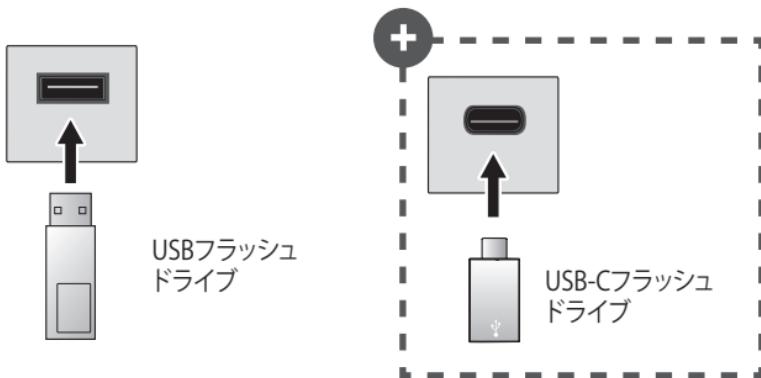
プロジェクターのスピーカーからモバイルデバイスの音声を再生する

Bluetooth経由でスマートデバイスをプロジェクターに接続し、プロジェクターのスピーカーからスマートデバイスの音声を再生します。

- 1 リモコンのボタンを押して、[ホームダッシュボード]を選択します。
- 2 [モバイル]領域で、[Bluetoothオーディオ再生]を実行します。
- 3 スマートデバイスのBluetooth機能をオンにし、続いてデバイス一覧からプロジェクターを選択します。
- 4 プロジェクターがスマートデバイスに接続されます。

USBデバイスの接続

USBストレージデバイス(USB HDD、USBフラッシュドライブ)をプロジェクターのUSBポートに接続し、USBストレージデバイスに保存されているコンテンツファイルをプロジェクターで再生します。



USB Type-Cの接続(対応機種のみ)

- USB Type-C端子のストレージデバイスを使用する前に、デバイスがUSB2.0に対応しているか確認してください。
- デバイスと接続するUSB(C-A)変換ケーブルまたは変換コネクタによっては、正常に動作しない場合があります。

USBストレージデバイスの使用上のヒント

- 自動認識プログラムを内蔵していたり、独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは、認識されない可能性があります。
- USBストレージデバイスによっては、対応していない場合があります。また、正常に動作しないことがあります。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBストレージデバイスが認識されないか、正常に動作しないことがあります。
- Windows OSのFAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされているUSBストレージデバイスを使用してください。
- 定格電圧5V以下、定格電流500mA以下の外部USB HDDを使用することをお勧めします。
- ACアダプタによって電力供給されるUSBハブまたはHDDを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBストレージデバイスが正しく検出されないことがあります)。
- 32GB以下のUSBステイックまたは2TB以下のUSB HDDを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB HDDが正常に動作しない場合は、ハードドライブの電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。詳細については、USB HDDの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは破損することがあるため、重要なファイルはあらかじめバックアップしておくことをお勧めします。保存されたデータの消失、破損については弊社は一切の責任を負いません。
- USBストレージデバイスを取り外す場合は、リモコンのボタンを押します。取り外すUSBストレージデバイスに焦点を当てるとき上部に表示される[取り外し]()ボタンを押します。[取り外し]を選択せずにUSBストレージデバイスを取り外すと、プロジェクターまたはストレージデバイスの故障や、データが破損する場合があります。
- その他の接続方法の詳細については、 (クイック設定) →  → [接続] → [デバイスコネクター]の順に選択してください。
- USBストレージデバイスをフォーマットするときは、リモコンのボタンを長押しします。[ホームダッシュボード] → [入力]から接続済みのUSBを選択して、[フォーマット]ボタンを選択します。フォーマットの後、USBストレージデバイスのすべてのデータは削除され、NTFSまたはFAT32ファイルシステムでフォーマットされます。
- USBストレージデバイスを接続する際、スマートプロジェクターサービス(サムネイルイメージの保存と取得など)を提供するためのランダムファイル/フォルダーが生成されます。

[写真 & 動画]

写真、動画の再生

[写真 & 動画] アプリで、写真や動画を表示できます。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [写真 & 動画] アプリケーションを起動します。
- 3 再生するファイルが保存されているストレージデバイスを選択します。
- 4 再生する写真または動画を選択します。



番号	説明
①	コンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	コンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)
③	再生するコンテンツを選択します。最初に選択したタイプと同じタイプのコンテンツしか選択できません。
④	[検索]を起動します。

- コンテンツの総数が40,000点を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

写真プレーヤー

[写真＆動画]アプリで写真を選択すると、写真プレーヤーが実行されます。保存した写真を表示できます。



番号	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	音楽プレーヤーを起動して、バックグラウンドミュージックを再生できます。
③	写真を拡大/縮小します。
④	スライドショーが開始されます。
⑤	写真を回転させます。
⑥	360度写真を360度で閲覧できます。 <ul style="list-style-type: none"> 通常の写真で360度VR再生を使用すると、画像が歪むことがあります。
⑦	写真のサイズを設定したり、スライドショーの速度と効果を変更します。

サポートされている写真ファイル

ファイル タイプ	形式	解像度
.jpeg .jpg .jpe	JPEG	最小: 64 x 64 最大 標準タイプ: 15360 (W) x 8640 (H) プログレッシブタイプ: 1920 (W) x 1440 (H)
.png	PNG	最小: 64 x 64 最大: 5760 (W) x 5760 (H)
.bmp	BMP	最小: 64 x 64 最大: 1920 (W) x 1080 (H)

ビデオプレーヤー

[写真＆動画]アプリで動画を選択すると、ビデオプレーヤーが実行されます。保存した動画を再生できます。



番号	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	動画再生中に、プレイリストを表示して他のコンテンツを選択できます。
③	再生中の動画を操作します。
④	ビデオを回転します。
⑤	360度ビデオを360度で閲覧できます。 <ul style="list-style-type: none"> 通常のビデオで360度VR再生を使用すると、ビデオが歪むことがあります。
⑥	動画の繰り返し再生が設定できます。
⑦	追加オプションを設定できます。

追加オプションの設定



番号	説明
①	字幕の設定を変更します。
②	オーディオトラックを設定できます。
③	最後に再生したシーンから再開して視聴を続けるよう設定できます。
④	基本操作画面に戻ります。

サポートされている動画ファイル

最大データ転送速度:

- フルHD動画
H.264 1920 x 1080@60P BP/MP/HP@L4.2 (最大40Mbps)
HEVC 1920 x 1080@60P Main/Main10@L4.1 (最大40Mbps)
- ULTRA HDビデオ (ULTRA HDモードのみ)
H.264 3840 × 2160@30P BP/MP/HP@L5.1 (最大50Mbps)
HEVC 3840 × 2160@60P Main/Main10@L5.1 (最大60Mbps)

サポートされている外部字幕:

.smi、.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、*.ass、*.ssa、
.txt (TMPlayer)、.psb (PowerDivX)、*.dcs (DLP Cinema)

サポートされている埋め込み字幕形式:

- Matroska (mkv): Sub Station Alpha (SSA)、Advanced Sub Station Alpha (ASS)、SRT
- MP4 (mp4): タイミングが設定されたテキスト

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.ASF .WMV	動画	VC-1アドバンスドプロファイル(WMVAを除く)、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard (WMA v1/WMA音声を除く)
.AVI	動画	Xvid (3ワープポイントGMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I, II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.MP4 .M4V .MOV	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby AC-4
.3GP .3G2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.MKV	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I, II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.TS .TRP .TP .MTS	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、Dolby AC-4
.MPG .MPEG .DAT	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I, II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.VOB	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I, II、DVD-LPCM

動画の再生に関する注意事項

- ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- 動画ファイルと字幕ファイルは同じフォルダー内に格納してください。字幕を正しく表示するには、動画ファイルと字幕ファイルは同じファイル名にする必要があります。
- ネットワークストレージ(NAS)は製造メーカーによって字幕に対応しない場合があります。
- Global Motion Compensation (GMC) およびQuarterpel Motion Estimation (Qpel) が含まれているストリームはサポートされません。
- ULTRA HDビデオ (ULTRA HDモードのみ) :3840 x 2160、4096 x 2160
LGエレクトロニクスから正式に配布されたコンテンツでない場合、HEVCでエンコードされたULTRA HD動画が再生できないことがあります。
一部のコーデックは、ソフトウェアのアップグレードによって対応する場合があります。

拡張子	コーデック	
mkv/mp4/ts	動画	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC

- Window Media Audio (WMA) は、V7以降のみサポートされています。
- AACメインプロファイルはサポートされていません。
- エンコーダーによって作成した動画ファイルが正常に再生できないことがあります。
- 指定されている形式とは異なる動画ファイルは正常に再生できないことがあります。
- 高速転送をサポートしないUSBストレージデバイスに保存されている動画ファイルは、正常に再生できないことがあります。
- DTSコーデックは、USBまたはHDMI接続の動画ファイルのみ再生できます。

[音楽]

音楽を聴く

[音楽]アプリで、音楽を再生できます。

- 1 リモコンの \square ボタンを押します。
- 2 [音楽]アプリを起動します。
- 3 再生するファイルが保存されているストレージデバイスを選択します。
再生する曲をすべてのストレージデバイスから選択して、[マイプレイリスト]に追加できます。
- 4 再生したい音楽を選択します。

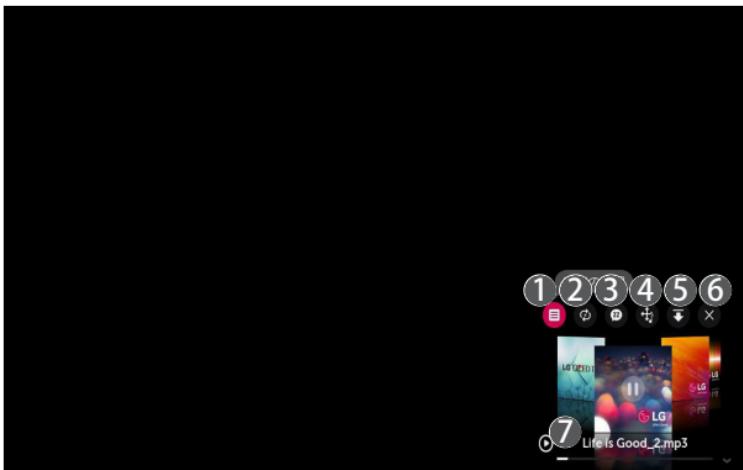


番号	説明
①	コンテンツの一覧を選択します。
②	コンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません)
③	コンテンツを選択して[マイプレイリスト]に追加します。
④	音楽プレーヤーを開きます。
⑤	[検索]を起動します。

- コンテンツの総数が5,000点を超えると、一部のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

BGMを設定する

他のアプリから音楽を選択し、BGM(バックグラウンドミュージック)に設定することができます。



番号	説明
①	選択したストレージデバイスから音楽を再生できます。
②	リピート再生またはランダム再生を設定できます。
③	画面をオフにして、音楽のみ再生します。
④	音楽プレーヤーの表示位置を変更します。
⑤	音楽プレーヤーを最小化します。
⑥	音楽プレーヤーを終了します。
⑦	<p>歌詞は、歌詞が提供されている音楽ファイルのみ表示できます。 音楽ファイルによっては、歌詞の一部分を選択して再生位置を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞機能は一部のデバイスのみに対応しています。 ・ 音楽ファイルの歌詞データによっては、歌詞が同期して表示されない場合があります。

- ・ リモコンの音量ボタンを押すと、音楽プレーヤーを再度開くことができます。
- ・ BGMとして他のアプリと合わせて使用する場合、アプリによっては使用が制限される場合や、再生が中断される場合があります。

音声形式

ファイル形式	項目	情報
.mp3	ビットレート	32kbps～320kbps
	サンプル周波数	16kHz～48kHz
	サポート	MPEG-1、MPEG-2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wav	ビットレート	-
	サンプル周波数	8kHz～96kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64kbps～320kbps
	サンプル周波数	8kHz～48kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	128kbps～320kbps
	サンプル周波数	8kHz～48kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル
.flac	ビットレート	-
	サンプル周波数	8kHz～96kHz
	サポート	FLAC
	チャンネル	モノラル、ステレオ

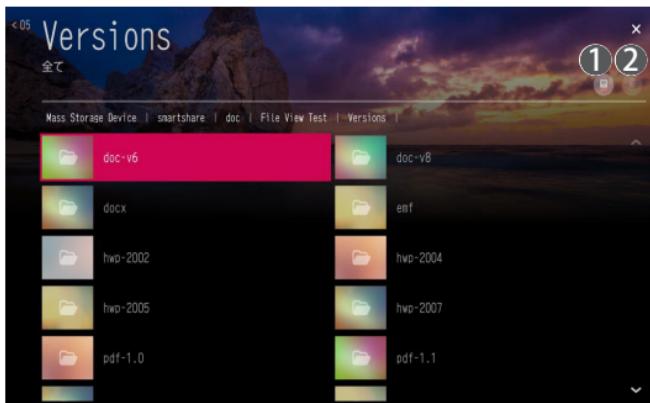
- サンプル周波数によってサポートされるチャンネルの数は異なります。

[File Viewer]

ドキュメントファイルを表示する

接続されたデバイスに保存されているドキュメントファイルを表示できます。

- 1 リモコンの[家]ボタンを押します。
- 2 [File Viewer]アプリケーションを起動します。
- 3 ファイルが保存されたストレージデバイスを選択します。
- 4 表示するドキュメントファイルを選択します。



番号	説明
①	コンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	コンテンツファイルを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)
<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツの総数が40,000点を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。 	

File Viewerの画面



番号	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	指定したページに移動します。
③	スライドショーを設定します。
④	ドキュメントを拡大・縮小します。
⑤	スライドショーを開始します。
⑥	ドキュメントを回転させます。
⑦	File Viewerのオプションを設定します。

サポートされているファイル形式

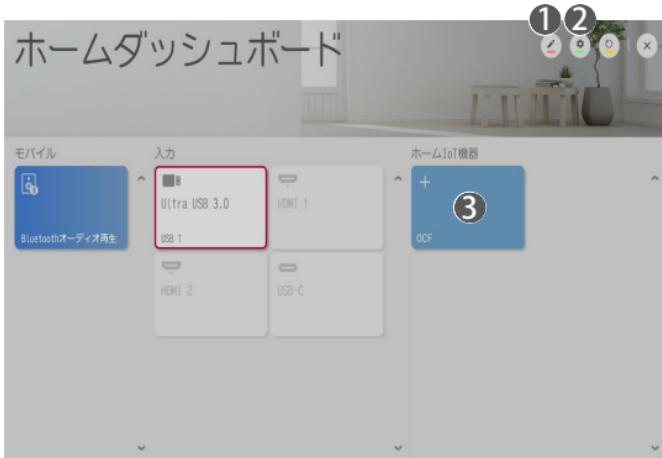
ファイル拡張子	サポートされているバージョン
XLS, XLSX	
DOC, DOCX	Microsoft Office 97/2000/2002/2003/2007/2010/2013/2016バージョン
PPT, PPTX	
TXT	-
PDF	Adobe PDF 1.0/1.1/1.2/1.3/1.4バージョン
HWP	Hangul 2007バージョン

- File Viewerで表示するためにドキュメントを再配列するため、PCでの表示と異なることがあります。
- 画像を含むドキュメントは、配列処理中に解像度が低く見えることがあります。
- ドキュメントのサイズが大きいか、多くのページが含まれている場合は、読み込みに時間がかかることがあります。
- サポートされていないフォントは、別のフォントに置き換えられます。
- 解像度の高い画像が多く含まれているOfficeドキュメントはFileViewerで再生できないことがあります。ドキュメントが再生できない場合は、画像のファイルサイズを小さくしてUSBストレージデバイスに保存し、もう一度FileViewerを実行するか、プロジェクターをPCに接続してPCからファイルを開いてください。

ホームIoT機器の使用

接続されたホームIoT機器の状態の確認・操作できます。

- 1 リモコンの \square ボタンを押して、[ホームダッシュボード]を選択します。
- 2 右上の \oplus を押して、[OCF接続]を選択します。
 - 使用しているOCF(Open Connectivity Foundation)対応デバイスを登録するには、OCFガイドを選択して、ガイドに従い設定を変更します。



番号	説明
①	[ホームIoT機器]に接続されたデバイス名を編集したり、デバイスの[表示]/[非表示]を設定します。
②	[OCF接続]: [オン]に設定した場合、OCFをサポートするデバイスがリンクされます。 [通知]: [オン]に切り替えると、ホームIoT機器の状態に関する通知が送信されます。 [デバイスコネクター]: [デバイスコネクター]アプリを起動します。
③	使用するOCF(Open Connectivity Foundation)対応デバイスをプロジェクターに接続できます。

- 一部のOCF(Open Connectivity Foundation)対応デバイスのみサポートされます。対応するデバイスは今後随時追加される予定です。
- プロジェクターをリセットするときは、プロジェクターに接続されたOCF(Open Connectivity Foundation)対応デバイスもリセットする必要があります。

コンピューターのコンテンツ共有

コンテンツ共有とは

コンテンツ共有により、PCに保存されている動画、音楽、写真を再生することができます。

PCの共有ソフトウェアを使用したコンテンツの再生

PCにWindows 7またはそれ以降がインストールされている場合、新たにプログラムをインストールせずに、音楽、動画、または写真をプロジェクターで再生できます。

- 1 プロジェクターとPCを同一のネットワークに接続します。Windows 7またはそれ以降がインストールされたPCも、ネットワークに接続する必要があります。
 - 2 目的の音楽/動画/写真ファイルを右クリックして、Windows 7またはそれ以降で提供されている「リモート再生」機能からモデルを選択し、ファイルを再生します。
モバイルデバイスなどの他のデバイスで再生する場合は、各デバイスの取扱説明書を参照してください。
- 複数のプロジェクターやデバイスを接続している場合でも、選択したファイルは1つのデバイスからのみ再生されます。再生速度はネットワークの速度によって異なります。

SmartShare PCソフトウェアを用いた、PCに保存されたコンテンツの再生

SmartShare PCソフトウェアを使用して、PCに保存されている音楽/動画/写真をホームネットワークに接続し、プロジェクターで再生することができます。

- 1** プロジェクターと、SmartShareがインストールされたPCを同一のネットワーク上に接続します。
 - SmartShare機能は、プロジェクターとサーバーPCが1つのルーターに接続されている必要があります。
- 2** LGのWebサイト (www.lg.com) から、PC用のSmartShareソフトウェアをPCにダウンロードしてインストールします。インストール前に、ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアなど、PCで実行中のプログラムはすべて終了してください。
- 3** PC用のSmartShareソフトウェアを実行して、共有設定を行います。
- 4** 共有した動画と写真は、プロジェクターの[写真＆動画]アプリから再生します。音楽ファイルは[音楽]アプリから再生します。
 - プロジェクターで共有ファイルを視聴するには、サーバーが稼働中である必要があります。
 - PC用のSmartShareソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- ・コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認してください。
- ・無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- ・1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- ・ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- ・コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5GHzの周波数のルーターが必要です。
2.4GHzのルーターでは、動画が正しく再生されないことがあります。
- ・コンテンツ共有機能は、マルチキャストに対応していないルーターではサポートされない場合があります。詳細については、ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ・字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- ・SmartShare PCソフトウェアは、字幕の読み取りへの使用が推奨されます。
- ・字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- ・接続されたデバイスのDRMファイルは再生されません。
- ・プロジェクターでサポートされているファイル形式の場合でも、サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なることがあります。
- ・1つのフォルダー内のファイル、フォルダの数が多すぎる場合、正常に再生できない場合があります。
- ・接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- ・エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

コンピューター画面の共有

PCの画面をプロジェクターに表示するには

無線の接続

- 1 PCの画面共有モードを有効にします。使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
- 2 プロジェクターを選択し、接続要求を実行します。
- 3 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
 - 安定した接続のため、接続するPCのOSは常時最新版にアップデートしてください。
 - この機能は近距離で使用することを推奨します。
 - 無線ルーターがなくても接続できますが、無線環境によってはパフォーマンスが低下する可能性があるため、デバイスを5GHz対応ルーターに接続することをお薦めします。
 - データの通信速度は使用環境に応じて異なります。
 - Windowsの設定はバージョンによって異なります。接続するPCの設定方法については、PCの取扱説明書またはOSのヘルプを参照してください。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターまたはPCの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

有線の接続

HDMI®ケーブルでPCとプロジェクターを接続します。

スマートプロジェクターの利点

インターネットを閲覧する

[ウェブブラウザ]の使用

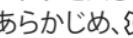
URLバーにWebアドレスを入力すると、Webサイトを開くことができます。検索ワードを入力すると、検索エンジンで検索ワードに基づいた情報を検索、表示します。

- 1 リモコンの[□]ボタンを押します。
- 2 [ウェブブラウザ]アプリケーションを起動します。



番号	説明
①	表示中のページを[お気に入り]に登録するか、登録済のページを削除します。
②	現在のページを再読み込みします。
③	画面左下にHDMI入力端子に接続した外部デバイスの映像を表示させることができます。
④	画面を拡大、縮小します。

番号	説明
⑤	[履歴]: 履歴の一覧の表示、削除ができます。 [お気に入り]: お気に入りの一覧の表示、削除ができます。 [設定]: ブラウザーの簡単な設定を行うことができます。 [エンコード]: Webページのコンテンツが正しく表示されない場合に、言語を変更できます。
⑥	ブラウザーを全画面モードで閲覧できます。元の画面に戻すには、リモコンを使用してポインターを画面上部に移動します。[全画面表示を終了]が表示されます。
⑦	[ウェブブラウザ]を終了します。

- ・ [ウェブブラウザ]はHTML5形式のみサポートしています。FlashPlugインには対応していません。
- ・ [ウェブブラウザ]では、プラグインのインストールに対応していません。
- ・ [ウェブブラウザ]では、JPEG/PNG/GIF形式以外の画像形式は再生できないことがあります
- ・ [ウェブブラウザ]は、メモリ容量を超えると強制終了することがあります。
- ・ [ウェブブラウザ]では、プロジェクターに内蔵されているフォントのみが使用されます。このため、PC上とは異なるフォントでテキストが表示されることがあります。
- ・ [ウェブブラウザ]はファイルやフォントのダウンロードは対応していません。
- ・ [ウェブブラウザ]は専用のブラウザーであり、PCのブラウザーとは動作が異なることがあります。
- ・ コンテンツによっては正常に表示できない場合があります。
- ・ お子様が本ブラウザを閲覧する場合は、インターネットの不適切なサイトにアクセスしないよう十分にご注意ください。
あらかじめ、 (クイック設定) →  → [ロック] → [アプリの使用制限]でアクセスを制限することで、不適切なサイトへの接続をブロックすることができます。

ウェブブラウザの設定

画面上部にある③を押して、[設定]を選択します。

- [起動時]

ブラウザが起動した時に表示するページを、[新しいタブ ページを開く]/[中断した箇所から続ける]/[ホームページ:]から選択できます。

- [検索エンジン]

デフォルトで使用する検索エンジンを選択できます。

- 検索エンジンの設定は、検索エンジンの運営会社の事情によって、事前の予告なく変更される場合があります。

- [おすすめのサイト]

[おすすめのサイト]が表示されるように設定を変更できます。

[おすすめのサイト]および[よく見るサイト]が新しいタブに表示されます。

[おすすめのサイト]を非表示にするには、[設定]から[オフ]を選択します。

- [お気に入りバーを常に表示]

[お気に入り]バーが常に表示されるように設定を変更できます。

- [プライベートブラウジング]

検索後に検索履歴が残らないように設定できます。

- [サイトカテゴリー]

[サイトカテゴリー]機能を使用するには、プロジェクトのパスワードを入力する必要があります。

初期パスワードは「0000」に設定されています。

- [承認済みサイト]: 以前に登録したWebページのみを開くように設定することができます。

- [ブロックされたサイト]: 特定のWebサイトをブロックするように設定することができます。

- [ポップアップブロック]

ウェブページを表示した際に出るポップアップをブロックできます。

- [追跡しない]

閲覧履歴をサーバーに記録しないよう要求できます。

- [JavaScriptを使用したアダプティブストリーミング]

[オフ]に設定されていると、[ウェブブラウザ]で再生される動画の解像度は720pに制限されます。

[お知らせ]

[お知らせ]を見る

プロジェクトのアプリやLGサービスから通知されるすべての「お知らせ」を閲覧できます。それぞれの通知の閲覧、削除ができます。またお知らせにリンクがある場合は、対象のWebサイトやアプリを直接開きます。

- 1 リモコンの⚙️(クイック設定)ボタンを押します。
- 2 ⚡ → [機器設定] → [このプロジェクターについて]の順に選択し、[Notifications]([お知らせ])を選択します。



番号	説明
①	お知らせを削除します。
②	お知らせの内容が長い場合には、[詳細]を押すと、完全ビューで開くことができます。
③	すべてのお知らせを削除します。
④	アプリの起動またはWebサイトに移動します。

設定一覧のツアー

クイック設定

機能設定を簡単に変更する

リモコンの⚙️(クイック設定)ボタンを押します。

[映像モード]、[画面サイズ]、[スピーカー設定]など、カテゴリー別のアイコンが表示されます。



番号	説明
①	クイック設定を終了します。
②	[映像モード]を設定できます。
③	[画面サイズ]を設定できます。
④	[スピーカー設定]を選択できます。
⑤	[スリープタイマー]を設定できます。
⑥	[PJTモード]を設定できます。
⑦	[接続]画面に移動します。
⑧	その他各種の設定ができます。

- ・設定中にリモコンの➡️ホイール(決定)を長押しし、対応するメニューに移動します。

[映像]設定

[映像モード]

 (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]

視聴環境、環境設定、動画のジャンルに合わせて最適な映像モードを選択できます。

入力信号によっては、適用できる映像モードが異なる場合があります。

オンラインサービスのコンテンツを視聴したとき、コンテンツに合わせて映像モードが変更される場合があります。

- [あざやか]

コントラスト、明るさ、シャープネスを高めて、鮮やかでシャープな映像で表示します。

- [標準]

一般的なコントラスト、明るさ、およびシャープネスで映像を表示します。

- [ライブシアター]

映画に適した画質で表示します。

- [スポーツ]

スポーツ観戦に適した画質で表示します。高速な動きの映像をシャープにします。

- [ゲーム]

ゲームプレイに適した画質で表示します。

- [HDR効果]

映像の明るい領域や暗い領域を補正して、よりダイナミックでクリアな映像で楽しむことができます。HDR映像のように映像のグラデーションを細やかに再現して、よりリアルな映像で表示します。

[映像モード]を[HDR効果]に設定すると、[映像モードの設定]の一部が設定できなくなります。

- [シネマ1]/[シネマ2]

映像の専門家や、よりお好みの画質で視聴したい方は誰でも、最適な映像品質になるように調整できます。

[映像モードの設定]

 (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定]

選択した映像モードを詳細に調整することができます。

入力信号または選択した映像モードによって、設定可能な項目が変わります。

- [コントラスト]

映像の明るい部分と暗い部分の明暗差を調整します。値が100に近づくほど、コントラストが高くなります。

- [明るさ]

画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。

- [シャープネス]

映像のシャープさを調整します。値が50に近づくほど、映像がシャープで鮮明になります。

- [色の濃さ]

画面に表示される色の濃さを調整します。値が100に近づくほど、色合いが強くなります。

- [色合い]

映像の赤と緑のバランスを調整します。値が赤50に近づくほど、赤色が強くなり、緑50も近づくほど、緑色が強くなります。

- [色温度]

色温度を高/中/低/ナチュラルに調整します。

- 設定は、現在表示している入力モードにのみ適用されます。現在の映像設定をすべての入力モードに適用するには、[すべての入力に適用]を選択します。

- [すべての入力に適用]

現在選択している映像モード用にカスタマイズした設定値を、すべての入力用に適用します。

- [初期化]

映像の設定を初期化します。

- 映像モードは個別に初期化できます。初期化する映像モードを選択して、有効にします。

[詳細設定]/[プロ設定]

 (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [詳細設定]

入力信号または選択した映像モードによって、設定可能な項目が変わります。

- [ダイナミックコントラスト]
映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。
- [ダイナミックカラー]
映像が彩り鮮やかで明るくなるように、映像の色と彩度を調整します。
- [色補正]
個人の好みに合わせて肌、草木、空の色を調整します。
- [色域]
表示する色域を選択します。
- [超解像]
解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。
- [ガンマ]
映像の中間階調の明るさを調整します。

 (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [プロ設定]

映像モードをプロ設定にした場合、次の機能を設定できます。

入力信号または選択した映像モードによって、設定可能な項目が変わります。

- [ダイナミックコントラスト]
映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。
- [超解像]
解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。
- [色域]
表示する色域を選択します。
- [ガンマ]
映像の中間階調の明るさを調整します。
- [ホワイトバランス]
画面全体の色温度を好みに合わせて調整します。
- [カラーマネージメント]
上級者用の機能で、テストパターンを確認しながら調整できます。6色 ([赤]/[緑]/[青]/[シアン]/[マゼンタ]/[黄]) の領域を選択して調整できます。一般的な映像では、調整しても大きな色の変化を感じないことがあります。

[映像オプション]

 (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [映像オプション]

入力信号または選択した映像モードによって、設定可能な項目が変わります。

- [ピクチャーノイズリダクション]
目立つ小さなドットを取り除いて、映像がクリーンになるようにします。
- [MPEGノイズリダクション]
デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズを低減します。
- [スムーズグラデーション]
映像のジャギー(階段状のギザギザ)を低減して、なめらかに映像を表示します。
- [黒レベル]
画面の暗さを調整して、画面の明るさとコントラストを補正します。
- [リアルシネマ]
映画館のような体験を提供します。
- [TruMotion]
動きの速い映像を滑らかに表現します。
 - [オフ]: [TruMotion]をオフにします。
 - [強]: 動きの速い映像をなめらかにします。
 - [弱]: 動きの速い映像をくっきりさせます。
 - [ユーザー設定]: [TruMotion]を手動で設定します。
 - [ジャダー調整]: 映像の振動(ジャダー)を調整します。
 - 詳細設定を変更するには、[ユーザー設定]モードに切り替えてください。

[画面サイズ]

 (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズの設定] → [画面サイズ]

入力信号によって、設定可能な項目が変わります。

- [16:9]
映像の縦横比を16:9で表示します。
- [オリジナル]
入力ビデオ信号に応じて、画面サイズを4:3または16:9に変更します。
- [4:3]
映像の縦横比を4:3で表示します。
- [垂直方向にズーム]
[ズームの調整]、[画面位置の調整]で、画面の垂直方向のサイズ、位置を調節して、画面の縦方向の表示を調整します。
- [全方向にズーム]
(HU85LSのみ)
[ズームの調整]、[画面位置の調整]で、画面の水平/垂直/対角寸法のサイズ、位置を調節して、画面表示を調整します。

[ジャストスキャン]

 (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズの設定] → [ジャストスキャン]

[オン]に設定すると、映像ソースの縦横比で表示されます。画面の端にノイズ等が表示される場合は、[オフ]にしてください。

[自動]に設定すると、動画信号に含まれる情報に応じて[オン]、[オフ]を自動的に切り替えます。

- 選択可能な項目は入力信号によって異なる場合があります。

[映像省エネ設定] (クイック設定) →  → [映像] → [映像省エネ設定]

画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。

- [最小]/[中]/[最大]

あらかじめ設定した[映像省エネ設定]モードを適用します。

[映像テスト] (クイック設定) →  → [映像] → [映像テスト]

まず、映像テストを開始して、ビデオ信号出力が正常かを確認し、続いてエラーがあるか選択します。

テスト映像に問題がない場合は、接続した外部デバイスを確認してください。

[HDMI 4K ディープカラー]

 (クイック設定) →  → [映像] → [追加設定] → [HDMI 4K ディープカラー]

HDMIに接続した外部デバイスがULTRA HDMI Deep Colorに対応している場合、映像が鮮明に表示される場合があります。

ただし、外部デバイスがULTRA HDMI Deep Colorに対応していない場合、正常に動作しない場合があります。外部デバイスが対応していない場合は、設定を[オフ]にしてください。

- 対応の解像度

- オン:4K@60Hz (4:4:4, 4:2:2, 4:2:0) をサポートします
- オフ:4K@60Hz (4:2:0) をサポートします

4K@50/60Hzのサポート形式

解像度	フレームレート (Hz)	色深度/彩度サンプリング		
		8ビット	10ビット	12ビット
3840 × 2160p 4096 × 2160p	50	YCbCr 4:2:0	YCbCr 4:2:0 ¹⁾	
	59.94	-	-	YCbCr 4:2:2 ¹⁾
	60	YCbCr 4:4:4 ¹⁾	-	-
		RGB 4:4:4 ¹⁾	-	-

1) [HDMI 4K ディープカラー]が[オン]に設定されているときサポートされます。

- 設定内容は表示中のHDMI入力のみ適用されます。
- 複数のHDMI入力端子を搭載したモデルは、それぞれのHDMIごとに設定できます。

[インスタンスゲームレスポンス]

 (クイック設定) →  → [映像] → [追加設定] → [インスタンスゲームレスポンス]

ゲームデバイスが接続されているHDMI端子を[オン]に設定すると、ゲームに適した映像設定が適用されます。

ただし、接続デバイスが対応していない場合は、正常に動作しない可能性があります。

- [インスタンスゲームレスポンス]を有効にするには、ゲームデバイスに接続されているHDMI端子の[HDMI 4K ディープカラー]機能を[オン]に設定します。
-  (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定]が[プロジェクター内蔵スピーカー]/[ヘッドホン]/[プロジェクター内蔵スピーカー+ヘッドホン]に設定されている必要があります。
- [インスタンスゲームレスポンス]が起動されると、一時的に映像が明滅することがあります。
- この機能を[オン]にすると、[映像設定]の一部が変更できなくなります。

[音声]設定

[アダプティブサウンドコントロール]

 (クイック設定) →  → [音声] → [アダプティブサウンドコントロール]

コンテンツのジャンルに合わせて自動的に音質を調整します。

この設定はプロジェクターの内蔵スピーカーのみ適用されます。

- この機能を[オン]に設定すると、[サウンドモード]は変更できなくなります。

[サウンドモード]

 (クイック設定) →  → [音声] → [サウンドモードの設定] → [サウンドモード]

ジャンルに合わせて適したサウンドモードを選択できます。

- [標準]
あらゆるジャンルに適した平均的な音質で出力します。
- [シネマ]
映画に適した音質で出力します。
- [クリアボイスⅢ]
音声の明瞭さが向上します。
- [スポーツ]
スポーツ観戦に適した音質で出力します。
- [音楽]
音楽観賞に適した音質で出力します。
- [ゲーム]
ゲームプレイに適した音質で出力します。

[サウンドモードの設定]

 (クイック設定) →  → [音声] → [サウンドモードの設定]

- [サウンドモード]
ジャンルに合わせて適したサウンドモードを選択できます。
- [バランス]
左右のスピーカーの音量を調整できます。
- [ウルトラサラウンド]
仮想マルチチャンネルのサラウンドサウンドエフェクトにより、リアルなサウンドスケープをお楽しみいただけます。
 - [サウンドモード]が[標準]に設定されている場合、この設定は無効になります。
- [イコライザー]
周波数帯域ごとに強弱を調整して、お好みの音質に整えます。
(100Hz/300Hz/1kHz/3kHz/10kHz)
 - [サウンドモード]が[標準]に設定されている場合、この設定は無効になります。
- [初期化]
サウンド効果の設定を初期化します。
 - [サウンドモード]が[標準]に設定されている場合、この設定は無効になります。

[スピーカー設定]

- ・[インスタンスゲームレスポンス]が[オン]に設定されているとき、[スピーカー設定]を[Bluetooth]/[光デジタル音声]/[HDMI ARC]に設定すると、音声の出力が遅延することがあります。
[プロジェクター内蔵スピーカー]に切り替えるか、 (クイック設定) →  → [音声] → [HDMI入力オーディオフォーマット]を[PCM]に変更してください。

プロジェクターの内蔵スピーカーからの音声の再生

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー]

プロジェクターの内蔵スピーカーから音声が出力されます。

光デジタル音声をサポートするオーディオデバイスの接続

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [光デジタル音声]

光デジタル入力に対応したオーディオデバイスをOPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)に接続すると、よりノイズの少ない高品位な音質と、利便性を提供します。

- ・OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)を搭載したモデルでのみ使用できます。
- ・プロジェクターのリモコンで、接続されている外部デバイスの音量を調整できます。
- ・[デジタル音声出力] ([自動]/[パススルー]/[PCM]) および[LGサウンドシンク] ([オン]/[オフ]) で設定します。

HDMI (ARC)ポートを介して接続された外部オーディオデバイスを通じた音声の再生

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [HDMI ARC]

プロジェクターの音声は、HDMI (ARC)端子で接続された外部オーディオデバイスから出力できます。

- ・[HDMI ARC]を選択してSIMPLINKを自動的にオンにします。SIMPLINKがオフになると、出力スピーカー設定は自動的に元の設定に戻り、音声出力が途切れないようにします。
- ・[デジタル音声出力] ([自動]/[パススルー]/[PCM]) で設定します。

デジタル音声出力の設定

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [光デジタル音声]/[HDMI ARC] → [デジタル音声出力]

デジタル音声の出力形式を設定します。

- この設定は、[光デジタル音声]/[HDMI ARC]に設定している場合にのみ設定できます。
- [パススルー]が設定されている場合、音声効果を適用せず、音声ソースのまま出力します。
- 本機のコーデック出力は、入力されるコンテンツのコーデックにより異なります。

	音声入力	デジタル音声出力
[PCM]	すべて	PCM
[自動] / [パススルー]	MPEG	PCM
	Dolby Digital	Dolby Digital
	Dolby Digital Plus / Atmos	(光デジタル音声) Dolby Digital (HDMI ARC) Dolby Digital Plus / Atmos
	Dolby TrueHD (HDMIのみ)	(光デジタル音声) Dolby Digital (HDMI ARC) Dolby Digital Plus / Atmos (HDMI ARC eARCオン) TrueHD ¹⁾
	HE-AAC	Dolby Digital
	DTS	DTS
	DTS Express	DTS
	DTS-HDマスター オーディオ	(光デジタル音声 / HDMI ARC) DTS (HDMI ARC eARCオン) DTS-HD ¹⁾ / DTS

1) [デジタル音声出力]が[パススルー]に設定されていて、入力がHDMIに設定されているときのみ対応します。

- Dolby TrueHD、eARCは対応していないモデルがあります。

LGサウンドシンクをサポートするオーディオデバイスの接続

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [光デジタル音声] → [LGサウンドシンク]

[LGサウンドシンク]をサポートするオーディオデバイスをOPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)に接続すると、よりノイズの少ない高品位な音質と、利便性を提供します。

- OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)を搭載したモデルのみ対応します。
- プロジェクターのリモコンで、接続されている外部デバイスの音量を調整できます。

無線によるオーディオデバイスの接続

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [Bluetooth]

BluetoothオーディオデバイスまたはBluetoothヘッドセットをワイヤレスで接続すると、よりノイズの少ない高品位な音質と、利便性を提供します。

- 直近でLGサウンドシンクに対応したサウンドバーに接続した場合、起動した際に、自動的に再接続を開始します。
- デバイスによっては、プロジェクターの電源をオンにすると、最後に接続したデバイスに自動的に接続を開始します。
- LGサウンドシンクをサポートしているLGオーディオデバイスに接続する場合は、LG TVモードまたはLGサウンドシンクモードの設定をお勧めします。
- 接続済みのデバイスや、接続可能なデバイスの確認は、[デバイスの選択]を選択してください。
- Bluetooth接続の音声デバイスによっては、プロジェクターのリモコンで音量を調整できるものもあります。
- デバイスが接続に失敗する場合は、接続するデバイスの電源を確認し、オーディオデバイスが正常に動作しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスのタイプによっては、デバイスが適切に接続されなかつたり、ビデオと音声が同期しないなど正常に動作しない場合があります。
- 以下の場合、音声が途切れたり、音質が低下することがあります。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの距離が離れている。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの間に障害物がある。
 - 電子レンジや無線LANなどの他の無線機器が近くにある。
- [映像モード]が[ゲーム]に設定されているときに、[スピーカー設定]を[Bluetooth]に設定した場合、[映像モード]は[標準]に変わります。
- デュアルモード/ダブルモード/2チャンネルモードをサポートするBluetoothスピーカーとマジック・ライティングリモコンを併用すると、スピーカーの性能が制限される場合があります。

有線ヘッドホンの使用

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [ヘッドホン]

接続されているデバイスに応じて音声出力を最適化するには、[ヘッドホン]を選択します。

(HU70LS/HU70LSBのみ)

- ・ヘッドホン端子搭載モデルのみ使用できます。
- ・プロジェクターの電源がオンになっているときに有線ヘッドホンを接続すると、ヘッドホンが自動的に検出され、音声はヘッドホン出力に切り替わります。

プロジェクター内蔵スピーカーと外部オーディオデバイスの音声を同時出力する

音声を複数のデバイスから同時に再生することができます。

- ・内蔵スピーカーと光デジタル出力を同時に出力する場合

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + 光デジタル音声]

- プロジェクターの内蔵スピーカーと、OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)に接続されたオーディオデバイスから、音声が同時に出力されます。
- OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT(光デジタル出力端子)を搭載したモデルのみ設定できます。

- ・内蔵スピーカーとヘッドホンを同時に出力する場合

 (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + ヘッドホン]

(HU70LS/HU70LSBのみ)

プロジェクターの内蔵スピーカーとヘッドホンから同時に音声を出力します。

- プロジェクターの電源がオンになっているときに有線ヘッドホンを接続すると、ヘッドホンが自動的に検出され、音声はヘッドホン出力に切り替わります。
- ヘッドホンポート搭載モデルでのみ使用できます。

[HDMI入力オーディオフォーマット]

 (クイック設定) →  → [音声] → [HDMI入力オーディオフォーマット]

それぞれのHDMI出力端子ごとに音声形式を設定できます。HDMI経由の音声が同期されていない場合は、[PCM]に設定してください。

[自動音量]

 (クイック設定) →  → [音声] → [自動音量]

[オン]に設定すると、音量が自動的に調整されます。

[AVシンク]

 (クイック設定) →  → [音声] → [AVシンク]

出力されているスピーカーからの音声のタイミングを調整します。

(+)に近づくほど、音声出力が遅くなります。

[Bypass]に設定した場合、外部デバイスから出力される音声の遅延を最小限に抑えます。プロジェクターは映像入力処理に時間を要するため、映像よりも音声が先に出力される場合があります。

[音声テスト]

 (クイック設定) →  → [音声] → [音声テスト]

[音声テスト]で、音声信号出力が正常か確認し、続いてエラーがあるか選択します。

テストに問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

- 音声テストには、プロジェクター内蔵スピーカーのみ対応しています。

[接続]

[プロジェクト名]

 (クイック設定) →  → [接続] → [プロジェクト名]

スクリーンキーボードで、ネットワークで使用するスマートプロジェクターの名前を設定できます。

- 英語のアルファベットを使用して、最大25文字まで入力できます。

[有線ネットワーク接続]

 (クイック設定) →  → [接続] → [有線ネットワーク接続]

LANケーブルで接続した場合は、プロジェクターはネットワークに自動的に接続されます。

ネットワークの接続設定を変更するには、ネットワーク設定で[編集]を選択します。

- IPv6については、設定を変更できません。

[無線ネットワーク接続]

 (クイック設定) →  → [接続] → [無線ネットワーク接続]

無線ネットワークに設定すれば、接続可能な近くの無線ネットワークに接続できます。

- [非表示の無線ネットワークを追加]

ネットワーク名を直接入力することで、ワイヤレスネットワークを追加することができます。

- [WPS-PBCで接続]

PBC(WPSボタンでの接続)に対応している無線ルーターは、ルータのWPSボタンを押して、簡単に接続することができます。

- [WPS-PINで接続]

接続した無線アクセスポイントのPINコードをアクセスポイントの設定ページに入力することで、簡単に接続することができます。

- [Wi-Fi詳細設定]

ネットワークの情報を直接入力することで、無線ネットワークに接続します。

- IPv6については、設定を変更できません。

[デバイスコネクター]

 (クイック設定) →  → [接続] → [デバイスコネクター]

プロジェクターと外部デバイスの接続を簡単に設定できます。

[デバイスコネクター]の画面に従って接続します。

[モバイルプロジェクター電源オン]

 (クイック設定) →  → [接続] → [モバイルプロジェクター電源オン]

[Wi-Fi経由でオンにする]または[Bluetooth経由でオンにする]が[オン]に設定されている場合、[モバイルプロジェクター電源オン]に対応するアプリでプロジェクターの起動や、アプリ画面を開くことができます。

- [Wi-Fi経由でオンにする]機能は、本機能に対応するアプリまたはスマートデバイスで使用する必要があります。
- [Bluetooth経由でオンにする]機能は、LGエレクトロニクス製のモバイルデバイスの一部のみ対応しています。
- プロジェクターがネットワークに接続されている必要があります。
- プロジェクターが電源に接続されている必要があります。
- プロジェクターおよび使用するデバイスが同一のネットワーク上に接続されている必要があります。
- 最初に接続する際には、接続するデバイスの接続準備ができていることを確認してください。

[Screen Shareの設定]

 (クイック設定) →  → [接続] → [Screen Shareの設定]

[ペアリングの履歴を削除する]を押して、画面共有によりプロジェクターに接続されたデバイスの接続を削除できます。

[HDMI機器の設定]

 (クイック設定) →  → [接続] → [HDMI機器の設定]

HDMI®ケーブルで接続された外部デバイスの情報を取得して、プロジェクターのリモコンで操作する外部デバイスを設定します。

- [機器の自動検出]
マジック・ライティングリモコンで、HDMI接続されたデバイスを操作できるよう、自動的に設定されます。
- [SIMPLINK (HDMI-CEC)]
HDMIで接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのマジック・ライティングリモコンで操作できるようになります。
- [自動電源]
[自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKに接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源も自動的にオンになります。プロジェクターの電源をオフにすると、機器の電源もオフになります。

[機器設定]

[言語設定 (Language)]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [言語設定 (Language)]

画面に表示されるメニュー言語を選択できます。

- ・[メニュー言語 (Menu Language)]
さまざまな言語が表示されるので、表示させたい言語を選択します。
- ・[キーボード言語]
オンスクリーンキーボードの言語を選択します。

[地域設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [地域設定]

プロジェクターを使用する地域(国)を設定します。

ネットワークに接続しない場合は、国を手動で設定する必要があります。

- ・[郵便番号設定]
郵便番号を入力し、プロジェクターの受信地域を設定します。
- ・[サービス対象国]
[自動で設定]を設定しない場合、使用する地域(国)を選択します。

[時刻設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [時刻設定]

プロジェクターを視聴しながら、時刻を確認または変更できます。

- [自動で設定]

プロジェクターの時刻をインターネットを介して自動的に設定されます。

- [時刻]/[日付]/[タイムゾーンの設定]

自動で設定された時刻が正しくない場合は、時刻と日付を手動で設定できます。

- [カスタムタイムゾーン]

[タイムゾーンの設定]で[カスタム]を選択すると、[カスタムタイムゾーン]メニューが有効になります。

[スリープタイマー]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [タイマー] → [スリープタイマー]

指定された時刻にプロジェクターの電源がオフになるように設定します。

[スリープタイマー]を無効にする場合は、[オフ]を選択します。

[オンタイマー]/[オフタイマー]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [タイマー] → [オンタイマー]/[オフタイマー]

プロジェクターの電源オン/電源オフの時刻を設定できます。

[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定しない場合は、[オフ]を選択します。

- [オンタイマー]/[オフタイマー]を設定する場合は、時刻が正確に設定されているか確認してください。

[自動オフ]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [タイマー] → [自動オフ]

設定した時間の間、映像信号等を受信していない、または操作がない場合、事前に設定した時間の経過後にプロジェクターの電源が自動的にオフになります。

[エッジ調整]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [エッジ調整]

(HU85LSのみ)

プロジェクターを投影面に対して垂直に設置できない場合、[エッジ調整]で、画面の水平方向、垂直方向を調整して、映像が正しく表示できるよう設定します。この機能は、プロジェクターが投影面に対してまっすぐに設置できないときのみ使用します。[エッジ調整]により、画質が落ちることがあります。

[台形補正]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [台形補正]

(HU70LS/HU70LSBのみ)

プロジェクターを投影面に対して垂直に設置できない場合、画面が台形にならないように、画面の上下の幅を調整します。

[自動キーストーン]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [自動キーストーン]

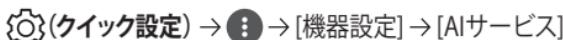
(HU70LS/HU70LSBのみ)

[自動キーストーン]は、プロジェクターの傾きによって画面が台形になっている場合に、台形補正值を自動的に調整して画面を長方形に補正します。

- [オン]
台形補正值を自動的に調整します。
- [オフ]
台形補正值を手動で調整します。

[PJTモード]

投写される映像の垂直方向または水平方向を反転させます。

[AIサービス]

使用履歴に基づき、お勧めのサービスを提供します。

- [AIおすすめ]

コンテンツの視聴履歴やアプリの使用履歴を元に、おすすめのコンテンツを表示します。

- [利用履歴リセット]

コンテンツの視聴履歴とアプリの使用履歴をリセットします。リセットすると、再度おすすめコンテンツのメッセージが届くまでに時間がかかります。

[アカウント管理]

アカウント情報や設定を管理します。

[機器省エネ設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [機器省エネ設定]

消費電力を抑えるように電源オプションを設定します。

- [自動電源オフ]

指定された時間内に一切の操作がない場合に、プロジェクターの電源を自動的にオフにするように設定します。

- [HDD省エネモード]

[オン]に設定すると、プロジェクターに接続されたUSB HDDが、長時間アクセス、操作がない場合に節電モードになります。

[このプロジェクターについて]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクターについて]

カスタマーサービス(ソフトウェアアップデート、プロジェクター情報など)に関する情報を確認できます。

プロジェクターを使用中に、[Notifications]([お知らせ])を選択すれば、受信した通知を確認できます。プロジェクターの状態を確認するには、[クイックヘルプ]を選択してください。

[LGワイヤレスキーボード]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [LGワイヤレスキーボード]

この機能を有効にすると、LGワイヤレスキーボードでプロジェクターを操作できます。

キーボードの電源をオンにし、ペアリングモードに設定してから、プロジェクターの画面で[接続]を選択するとBluetoothで接続されます。

- サポートされているキーボード
 - LG Rolly Keyboard
- すでに接続済みのLGワイヤレスキーボードがある場合、プロジェクターの電源をオンにすると、キーボードが自動的にプロジェクターに再接続されます。
- 接続を切断するには、[切断]を選択します。

[設定のヘルプ]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [設定のヘルプ]

設定のヒントが表示されます。設定のヘルプボックスのオン/オフを切り替えます。

[スクリーンセーバー]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [スクリーンセーバー]

表示中のアプリが1時間操作がなかった場合、[スクリーンセーバー]に切り替わります。

- [スクリーンセーバー]機能を[オフ]にすると、スクリーンセーバーを表示せず、同一の画面を長時間表示することとなり、焼き付きが発生する場合があります。焼き付きが発生すると、残像が消えなくなる場合があります。焼き付きに関しては保証の対象外となるので、この機能は[オン]にすることをお勧めします。

[無信号時画像表示]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [無信号時画像表示]

信号がないとき、表示される画像をオンまたはオフに切り替えることができます。

- [オン]
信号がないとき、デフォルト画像が表示されます。
- [オフ]
信号がないとき、[信号なし]メッセージが表示されます。

[自動電源オン]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [自動電源オン]

プロジェクターに電源コードを接続したときに、プロジェクターの電源を自動的にオンにします。

- [オン]
電源コードがプロジェクターに接続されると、自動的にオンになります。
- [オフ]
電源コードがプロジェクターに接続されると、スタンバイモードになります。

[高高度]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [高高度]

標高1200mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。

オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保護機能が有効になることがあります。その場合は、プロジェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンしてください。

[モード設定]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [追加設定] → [モード設定]

[ホームモード]または[パブリックモード]を選択できます。

プロジェクターをご家庭で使用する場合は、[ホームモード]を選択します。

[パブリックモード]は、プロジェクターを店舗に展示する場合にのみ選択します。[パブリックモード]を選択すると、店舗での展示に最適な設定になります。

[初期化]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [初期化]

プロジェクターを初期設定に戻します。この設定を行うと、すべての設定がデフォルト値に戻ります。

初期化の後、プロジェクターの電源は自動的にオフになってから、オンになります。

- [ロック]を[オン]に設定した場合、[初期化]にパスワードを入力する必要があります。
- 初期化中に電源をオフにしないでください。
- 第三者に売却し引き渡す前に、[初期化]でプロジェクターを初期化することをお勧めします。

[ロック]設定

- ・[ロック]を[オン]に設定します。
- ・初期パスワードは「0000」に設定されています。

[アプリの使用制限]

 (クイック設定) →  → [ロック] → [アプリの使用制限] → ロックするアプリケーションを選択します。

アプリケーションをロックまたはロック解除できます。

- ・使用中のアプリケーションは、すぐにはロック機能が適用されません。

[入力のロック]

 (クイック設定) →  → [ロック] → [入力のロック] → ロックする入力を選択します。

入力のロックを、ロックまたはロック解除できます。

[パスワードのリセット]

 (クイック設定) →  → [ロック] → [パスワードのリセット]

プロジェクターのパスワードを設定または変更します。

パスワードを忘れた場合のリセット

設定したパスワードを忘れた場合は、次のようにリセットできます。

- 1 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [ロック] → [パスワードのリセット]にポインターを合わせます。
- 2 リモコンの →  →  →  を順に押します。マスターパスワード入力ウィンドウが開きます。
- 3 マスターパスワード入力ウィンドウに数字「0313」を入力して、[入力]を押します。パスワードがリセットされます。

[ユーザー補助]

[ポインター設定]

 (クイック設定) →  → [ユーザー補助] → [ポインター設定]

マジック・ライティングリモコのポインターの速度、サイズをお好みに合わせて設定します。

[透過メニュー]

 (クイック設定) →  → [ユーザー補助] → [透過メニュー]

この機能を[オン]にすると、メニューの一部(検索など)の背景が半透明で表示されます。

[ハイコントラスト]

 (クイック設定) →  → [ユーザー補助] → [ハイコントラスト]

この機能を[オン]にすると、画面のメニュー や フォントの色の一部の背景を変更することで、明るい部分と暗い部分のコントラスト差を大きくします。

ソフトウェアの更新

最新バージョンの有無を確認して、適用します。

- ・最新バージョンの適用にはインターネット接続が必要です。
- ・最新のバージョンに更新されていない場合、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

[最新版を確認]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクトについて] → [最新版を確認]

最新のアップデートプログラムがある場合のみ更新が適用されます。

プロジェクトが自動的に最新プログラムの有無を確認しますが、手動で確認することもできます。

[自動アップデートを行う]

 (クイック設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクトについて] → [自動アップデートを行う]

[自動アップデートを行う]が選択されている場合、アップグレードプログラムがある場合、更新の可否の確認をせず、自動的に更新されます。

[自動アップデートを行う]が選択されていない場合、アップグレードプログラムがある場合、更新の可否の確認メッセージが表示されます。

トラブルシューティング

本製品を使用中に問題が発生した場合は、まず以下の事項をご確認いただき、症状が改善されないとときは (クイック設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクトについて]に弊社カスタマーセンターの情報が表示されますので、お問い合わせください。

[クイックヘルプ]で問題を確認する

プロジェクトに発生した問題のトラブルシューティングが表示されます。

- 1 リモコンの (クイック設定) ボタンを押して、 → [機器設定] → [このプロジェクトについて] → [クイックヘルプ]の順に選択します。
 - ・また、リモコンの数字ボタンを長押しすると、同様に[クイックヘルプ]が表示されます。
- 2 [プロジェクトの状態確認]/[プロジェクト設定自己診断]を実行します。
問題項目を選択することで、問題についての対処方法が表示されます。
 - ・[プロジェクト設定自己診断]: 症状に一致する項目を選択し、問題の解決に役立つ手順を検索します。
 - ・[プロジェクトの状態確認]: 選択された項目に対して、プロジェクトの現在の状態を確認できます。
 - ・[クイックヘルプ]に該当する内容がない場合は、次のページを参照してください。
 - ・問題が解決できない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

正常に動作しない場合は

電源/リモコンに関する問題

プロジェクターの電源がオンにならない。

- プロジェクターの電源プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- マルチタップを使用している場合は、マルチタップが正常に機能しているか確認してください。プロジェクターの電源プラグをコンセントに直接差し込んで正常に動作するか確認してください。
- プロジェクター本体の電源ボタンを押して起動するかお試しください。

電源をオンにしてしばらく経っても画面が表示されない。

- 本製品は、映像投影中に発生する可能性のあるノイズを除去するプロセスがあり、不良、故障ではありません。

マジック・ライティングリモコンのポインターが画面に表示されない。

- プロジェクターにマジックリモコンを向けて、PICTUREボタンをペアリングの案内が表示されるまで長押ししてください。ペアリングが解除され、再登録されます。
- マジック・ライティングリモコンの電池の残量が少なくなるとガイダンスが表示されます。表示が出たら電池を交換してください。(アルカリ乾電池を使用してください。)

リモコンでプロジェクターをオンにできない。

- プロジェクターの電源プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- リモコンの電池が不足していないか確認してください。
- プロジェクターとリモコンの間に障害物がないか確認してください。プロジェクターの受光部の前に障害物があると、赤外線を受信できない場合があります。サウンドバーを設置する場合は配置にご注意ください。

映像に関する問題

最初に、 (クイック設定) →  → [映像] → [映像テスト]を実行して、プロジェクターが正常に動作するか確認してください。

セットトップボックスを使用している場合、一度電源をオフにして、再度オンにしてください。

セットトップボックスがプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。

画面に信号がないと表示される。

- HDMI®ケーブルがプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。
-  ボタンを押して、デバイスが接続されている端子を選択してください。
- セットトップボックスやブルーレイプレイヤーなどの外部デバイスの電源がオンになっているか確認してください。

水平または垂直の線および網目模様が瞬間的に表示された後、画面が揺れる。

- コードレス電話、ヘアドライヤー、電気ドリルなど近くで使用している場合は使用を中止してください。他のプロジェクターなど、高電磁波を発する高周波電子機器が原因になる場合があります。

画面の上下左右に縦線が表示される。HDMI接続時に色が滲んで見える。

-  (クイック設定) →  → [映像] → [画面サイズの設定] → [ジャストスキャン]

[ジャストスキャン]を[オフ]に設定します。

[ジャストスキャン]は元の映像をそのまま表示します。ただし、映像コンテンツそのものに記録された端のノイズが表示される場合があります。

HDMI®ケーブルを接続しても、何も表示されない、画像がちらつき続ける。

- HDMI®ケーブルがHDMI Licensing, LLCの認証を受けた、規格に適合した製品であるか確認してください。HDMI®ケーブルが曲がっている、破損しているなど正常な状態でない場合、画面のちらつき、画面のブランクが発生することがあります。
- ケーブルが正しく端子に接続されているか確認してください。接続が不十分な場合、画面上に表示の問題が発生する可能性があります。

画面がぼやけたり、暗く見える。

-  (クイック設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]
[映像モード]をコンテンツにあった映像モードに切り替えてください。
([標準]、[あざやか]など)
映像モードはそれぞれの入力に適用されます。
-  (クイック設定) →  → [映像] → [映像省エネ設定]
[映像省エネ設定]を[最小]に切り替えます。

画面に表示される色合いがおかしい。

- 入力モードまたはケーブル接続を確認してください。
-  から接続される入力装置を選択してください。

音声に関する問題

最初に、 (クイック設定) →  → [音声] → [音声テスト]を実行して、プロジェクトが正常に動作するか確認してください。

セットトップボックスを使用している場合、一度電源をオフにして、再度オンにしてください。

セットトップボックスがプロジェクトに正しく接続されているか確認してください。

映像は正常に表示されるが、音声が出力されない。

- セットトップボックスを使用している場合、セットトップボックスまたはプロジェクトの音量が0になっていないか確認して、適切な音量に設定してください。

-  (クイック設定) →  → [音声] → [スピーカー設定]
[スピーカー設定]を[プロジェクト内蔵スピーカー]または[プロジェクト内蔵スピーカー + 光デジタル音声]に設定し、再度確認してください。内蔵スピーカーから正常に音声が出力される場合は、サウンドバーなど外部スピーカーが正しく設定されているか、正常に動作しているか確認してください。

片方のスピーカーから音声が出力されない。

-  (クイック設定) →  → [音声] → [サウンドモードの設定] → [バランス]
[バランス]のナビゲーションボタンで左右の音量バランスを調整してください。

PC接続に関する問題

リモコンの \square ボタンを長押しして、[ホームダッシュボード]の右上の②を選択してください。編集モードで、PCに接続されるHDMI端子のアイコンを[PC]に設定し、PCが出力する解像度、縦横比に設定してください。

ひとつの入力端子に違うデバイスを接続した場合、編集アイコンの設定が自動的に更新されないので、アイコンを再設定してください。

本製品の使用中に次のいずれかの問題が発生した場合は、次の事項を確認してください。

PCに接続した後もPCの画面が表示されない。

- PCがプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。
- リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにします。
- プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動します。
- 設定した解像度がPCの解像度に対応しているか確認してください。
- 複数のディスプレイで使用する場合は、PCが複数のモニター表示に対応しているか、PCの出力設定がプロジェクターを認識しているか、プロジェクターに出力する設定になっているか確認してください。
- 接続しているHDMI®ケーブルがハイスピードに対応していない場合は、対応のケーブルに交換してください。
- PCのRGB(アナログ)端子と本製品のHDMI入力端子を接続する場合は、アナログ信号をデジタル信号に変換するD-SubからHDMIへの変換コネクタが必要です。HDMI信号をアナログに変換するコネクタでは画面に表示されないのでご注意ください。

PC画面の全体が表示されない。

- PCの解像度をプロジェクターの対応する解像度に設定してください。
- 接続されるHDMIデバイスの名前をPCに設定してください。
- リモコンの \square ボタンを長押しします。右上隅の②を選択して、[入力]に接続されるHDMI端子のアイコンをPCに変更してください。

PCをHDMI®ケーブルで接続すると音声が再生されない。

- 以下の手順でPCの音声出力に関する設定を開き、正しくプロジェクターに設定されているか確認してください。

Windows 7:「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「オーディオデバイスの管理」の順に開き、「再生」タブから選択します。

Windows 10:「Windowsの設定」→「システム」→「サウンド」→「出力デバイスを選択してください」のタブから選択します。

- グラフィックカードのHDMI出力端子が音声信号に対応しているか、確認してください。グラフィックカードの仕様についてはグラフィックカードの取扱説明書を確認するか、製造メーカーにお問い合わせください。

[写真＆動画]および動画の再生に関する問題

詳細情報と対応ファイルに関しては、本書の[写真＆動画](31～38ページ)を確認してください。

[写真＆動画]にファイルが見つからない。

- USBストレージデバイスのファイルをPCで読み取れるか確認してください。
- ファイルの拡張子が対応しているか確認してください。

「このファイルはサポートされていません」というメッセージが表示されるか、音声は通常どおり再生されるが動画が再生されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されるか、またはファイルが破損していないかを確認してください。
- ファイルの拡張子が対応しているか確認してください。
- 動画ファイルの解像度が対応しているかを確認してください。
- ビデオコーデックが対応しているか確認してください。
- フレームレート(1秒間に表示されるフレーム数)が対応しているか確認してください。

「この音声はサポートされていません」というメッセージが表示されるか、動画は通常どおり再生されるが音声が再生されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されるか、またはファイルが破損していないかを確認してください。
- ファイルの拡張子が対応しているか確認してください。
- 音声コーデックが対応しているか確認してください。
- ビットレートが対応しているか確認してください。
- サンプリングレートが対応しているか確認してください。
- 音声チャンネルの分離がサポートされているか確認してください。

字幕が表示されない。

- PCのビデオプレーヤーでファイルが問題なく再生されるか、またはファイルが破損していないかを確認してください。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じファイル名か確認してください。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダー内にあるか確認してください。
- 字幕ファイルの形式が対応しているか確認してください。

- 言語がサポートされていることを確認してください。(字幕ファイルの言語は、メモ帳でファイルを開いて確認できます)。

字幕のエンコードが正しく設定されていないと、字幕が正しく表示されないことがあります。

動画再生画面の下部にあるコントロールパネルで  →  を選択し、[コードページ]の値を変更します。

- コンテンツ共有機能を利用して別のデバイスに保存されている動画ファイルを再生する場合、使用するプログラムによっては、字幕を使用できないことがあります。
- NASストレージの動画ファイルを再生している場合、字幕はサポートされません。

USBストレージデバイスを接続しても認識されない。

- USBストレージデバイスがプロジェクターがサポートしているか確認してください。

ネットワーク接続に関する問題

ネットワーク接続状況を以下のように確認できます。

-  (クイック設定) →  → [接続] → [有線ネットワーク接続]
-  (クイック設定) →  → [接続] → [無線ネットワーク接続] → [Wi-Fi詳細設定]



プロジェクターの次にXが表示される場合

- プロジェクターまたはルーターが正しく動作しているか確認してください。
- プロジェクター、ルーター、およびケーブルモデムの接続状況を確認してください。
- 次の手順に従ってそれぞれの機器を再起動してください。
 - 1.ケーブルモデム:ケーブルモデムが初期化されるのを待ちます。
 - 2.ルーター:ルーターが初期化されるのを待ちます。
 - 3.プロジェクター:
- 無線で接続している場合は、SSID(ネットワーク名)およびルーターの無線チャンネルを変更します。
- 静的IPを使用している場合は、IPアドレスをプロジェクターに設定します。
- インターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。



ゲートウェイの次にXが表示される場合

- ルーターの設定を確認するか、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- ルーター、ケーブルモデムの電源コードを一旦抜いて、10秒後に再起動してください。
- ルーターまたはケーブルモデムを初期化(リセット)します。
- インターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。
- ルーターの製造元のWebサイトにアクセスして、ルーターに最新バージョンのファームウェアがインストールされているか確認してください。



DNSの次にXが表示される場合

- ルーターを確認するか、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- ケーブルモデムまたはルーターの電源コードを一旦抜いて、10秒後に再起動してください。
- ケーブルモデムまたはルーターが初期化(リセット)されたら、再接続をお試しください。
- プロジェクター、ルーターのMACアドレスがインターネットサービスプロバイダに登録されているか確認してください。(ネットワークステータスウインドウのペインに表示されたMACアドレスをインターネットサービスプロバイダに登録する必要があります)。

LGアカウントに関する問題

プロジェクトはサインアップされています。Webサイト(www.lgappstv.com)で再度登録する必要がありますか？

- プロジェクターすでに会員登録いただいている場合は、Webサイトで再度ご登録いただく必要はありません。
同じIDとパスワードでWebサイトにサインインし、追加情報を入力して、メール認証プロセスを完了することができます。

ID/パスワードを忘れてしまいました。どうすればよいですか？

- サインイン画面でパスワードを忘れた場合を選択すると、メールでパスワードを初期化できます。
- PCで会員登録した場合は、Webサイト(www.lgappstv.com)でID/パスワードを確認することができます。

コンテンツに関する問題

ホーム画面にコンテンツが表示されない。

- サービス対象国の設定が変更されると、コンテンツを視聴できないことがあります。 (クイック設定) →  → [機器設定] → [地域設定] → [サービス対象国]で、使用する地域(国)を設定してください。
- 削除したアプリは閲覧できません。必要なアプリを再インストールしてください。
- アプリやコンテンツはサービスプロバイダーの都合により、変更、休止される場合があります。
- アプリを削除した場合、[LG Content Store]でアプリをダウンロードして、再インストールできます。 → [LG Content Store]に移動し、必要なアプリを検索・インストールしてください。

インターネットブラウザーに関する問題

Webサイトで表示されない部分がある。

- ・[ウェブブラウザ]ではHTML5形式のみサポートしています。FlashPlugインには対応していません。
- ・[ウェブブラウザ]では、プラグインのインストールに対応していません。
- ・[ウェブブラウザ]では、JPEG/PNG/GIF形式以外の画像形式は再生できないことがあります。
- ・添付ファイルや画像は保存できません。

特定のWebサイトにアクセスするとインターネットブラウザーが強制終了する。

- ・本機の内蔵するメモリサイズを超える情報量(画像など)の多いページを表示させると、インターネットブラウザーが強制終了することがあります。

[ウェブブラウザ]で動画視聴中に、動画が強制的にオフになる。

- ・[ウェブブラウザ]で[設定]→[JavaScriptを使用したアダプティブストリーミング]を[オフ]に設定すると、改善することができます。設定適用後は、既に開いているページには適用されません。適用後に新たに開いたページから対応します。

メモ



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号
